

令和4年度

久留米市教育施策要綱案



感染症を防止し、差別や偏見を許さない

久留米市教育委員会

未来の学びが 未来の教育へ つながる



GoogleClassroom × 各教科 6年生 **算数**

校区内にある貯水施設の貯水量 (およその体積) を計算する

貯水量 = 底面積 × 高さ

25mプール
底で $25 \times 25 = 25 \times 25 = 625$
→ 360

プール1つ
360㎡

中央公民館の貯水施設は
何個ですか。

式 $34 \times 250 \times 2 = 17000$
答え 17000㎡

市役所河川課の
方とMeetで
やり取りをする。

式 $17000 \div 240 = 47.2...$
答え 47個

1時間: 500㎡必要とする
に全部飲みに何時間か
かりますか。

式 $17000 \div 500 = 34$
答え 34時間

商業小

コンピュータ端末を活用したオンライン授業

はじめに

久留米市は「水と緑の人間都市」を都市づくりの基本理念に、「誇りがもてる美しい都市 久留米」「市民一人ひとりが輝く都市 久留米」「活力あふれる中核都市 久留米」の3つの都市像を目指す都市の姿として掲げ、戦略性と協働性を基本視点とした都市づくりを総合的に進めています。

また、この都市の姿の実現に向けて、令和2年度から7年度までを計画期間とした「久留米市新総合計画第4次基本計画」を策定し、持続的発展に向けた都市づくりを進めているところです。

こうした中、令和元年度に「久留米市教育に関する大綱」が策定されました。大綱は「“学び”が人をつくり、“地域”が人を育み、輝く未来を創る」を基本理念とし、学校教育の基本方針「「生きる力」を育み、元気と笑顔があふれる子どもを育てる教育」と社会教育の基本方針「生涯学び、活躍できる環境を整え、心豊かな市民生活をおくることができるまちづくり」を掲げ、施策の方向性を定めています。

併せて、久留米市教育委員会では、第4次基本計画及び大綱に掲げる基本理念と目指す都市の姿の実現に向けて、令和2年度から7年度までを計画期間とする「久留米市教育振興プラン」を策定し、「ともに未来を創る「くるめっ子」の育成」を目標に、施策目標の達成に取り組んでいきます。

また、新型コロナウイルス感染症の収束が不透明な中、学校と教育委員会が協力し、児童生徒が心と体の健康を保持しながら意欲的に学習ができる新たな学校生活様式の確立に向けて取組を進めています。

加えて、教育行政の推進に当たっては、市長部局を始めとする関係機関と連携しながら「誰もが生き活きと生活ができ、活躍できる共生のまちづくり」に向けて取り組んでいく必要があります。

久留米市教育委員会では、これらの基本的な考え方を踏まえ、教育における具体的な施策方針として「令和4年度久留米市教育施策要綱」を定めました。今後、本要綱に基づいて、市民の理解と協力を得ながら教育施策・事務事業に取り組んでいきます。

なお、令和4年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症対策等により、本要綱に掲げる施策の内容等が変更になる場合があります。

目次

第1章

教育施策の重点課題と対応方針	1
----------------	---

第2章

教育行政の主要施策の展開

I 「生きる力」を育み、元気と笑顔があふれる子どもを育てる教育

教育振興プランの推進	3
重点1 学びをつなぐ授業	4
重点2 楽しい学校	7
重点3 笑顔の先生	9
重点4 協働する学校・家庭・地域	11
その他の施策	12

II 生涯学び、活躍できる環境を整え、心豊かな市民生活をおくることができるまちづくり

1 生涯学習・社会教育の推進	14
2 歴史遺産の保存・活用	15
3 スポーツの推進	17
4 市民の自己学習の場としての図書館づくり	19

III 新型コロナウイルス感染症対策

IV 教育施策の重点事業

第3章

教育行政資料	61
--------	----



子どもの探求心を募集する取組

1 学校教育

総括的な考え方

令和4年度は、令和2年3月に策定した「久留米市教育に関する大綱」と「久留米市教育振興プラン」の3年目に当たります。

プランの2年目に当たる令和3年度は、特別支援教育や学校相談への支援等において成果が見られた一方で、学力向上をはじめとする授業改善や不登校対応等の取組では課題が見られました。

このような状況を踏まえ、プランに掲げた4つの重点である「学びをつなぐ授業」「楽しい学校」「笑顔の先生」「協働する学校・家庭・地域」の実現に向けて、これまでの課題改善や新しい目標達成のための取組を着実に進めます。

ICT活用による教育の充実

本市では、Society5.0時代の到来を見据えたGIGAスクール構想に基づき整備した、児童生徒1人1台のコンピュータ端末と高速大容量の校内情報通信ネットワーク等のICT環境の活用を行っています。取組にあたっては「主体的・対話的で深い学びの実現」「安全・安心な学校生活の実現」「教員のICT活用力の向上と働き方改革の推進」「家庭や地域との連携の推進」の4つを重点とし、「誰一人取り残さない、個別最適な学びと、協働的な学びの実現」を目指して、取り組みの量から質への移行を進めます。

より良い教育環境、快適で安全安心な学校施設の整備等

児童数の減少に伴う小学校の小規模化と学校施設の老朽化の課題に対応するために、久留米市立小学校小規模化対応方針を改定し、小学校統合の取組を進めることで、より良い教育条件・教育環境の整備を図ります。

また、久留米市学校施設長寿命化計画に基づき、学校施設に求められる機能・性能を確保しつつ、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び支出の平準化を図りながら、学校施設の老朽化対応や安全衛生環境の確保を計画的に進めます。

さらに、教職員の働き方改革や教職員研修の充実を通して、教職員の指導力の向上を図ります。

新型コロナウイルス感染症対策

学校では「感染防止」「学びの保障」「元気支援」の3つの柱で、児童生徒の学習保障やきめ細かい心のケア、感染者等への偏見や差別の防止などの感染症対策に取り組むとともに、ウィズコロナに基づく新しい学校の生活様式の確立を図ります。

2 社会教育

総括的な考え方

「久留米市教育に関する大綱」の基本理念である、「“学び”が人をつくり、“地域”が人を育み、輝く未来を創る」の実現に向け、多様な主体との連携を図りながら、学びと活動の機会の提供と環境づくりに取り組みます。

生涯学習の推進

すべての市民があらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現に向け、校区コミュニティ組織や社会教育関係団体等と連携しながら、学習や体験、活動の機会と場の提供を図るとともに、学び合い、協力し合い、地域社会を支える人づくりを目指した生涯学習・社会教育の推進に取り組みます。

また、市立図書館は、市民の学びと情報の拠点として、快適な読書空間の提供と図書館機能の充実を図るとともに、子どもが読書を通じて心豊かな生活を送れるよう読書習慣の定着の推進に取り組みます。

スポーツの振興

久留米アリーナなどのスポーツ拠点施設等を最大限活用して、多くの人々が集い、スポーツを通じて市民が愛着や誇りを感じることができるよう魅力ある事業を戦略的に進めるとともに、久留米市を対外的にアピールするMICE誘致に取り組みます。

また、世界を目指すジュニアアスリートに対する支援を行うとともに、市民が主体的にスポーツと触れ合う新たな仕組みを提供し、広くスポーツの恩恵を享受できるような環境を整備することで、スポーツ参画人口の拡大とスポーツ活動の活性化を目指します。

文化財の保存・活用

久留米市が有する歴史遺産を次世代へ継承するために、地域や関係機関とも協働しながら、継続的な保存・管理を行うとともに、文化財の周知普及、学校・社会教育や地域振興、観光振興など久留米の新たな魅力につながる歴史文化のまちづくりを進めます。

なかでも、昨年中止となった「久留米入城400年」記念事業の雅楽公演会や城下町めぐりイベントの開催など、市民の歴史的関心を高めるような魅力ある事業を展開します。

第2章 教育行政の主要施策の展開

I 「生きる力」を育み、元気と笑顔があふれる子どもを育てる教育

教育振興プランの推進

久留米市教育振興プラン（令和2～7年度）は、第1期から第3期までの久留米市教育改革プランの成果と課題を踏まえ「ともに未来を創る「くるめっ子」の育成」を目標に掲げています。

これまでの取組のさらなる充実・定着・拡大を基本方針として「学びをつなぐ授業」「楽しい学校」「笑顔の先生」「協働する学校・家庭・地域」を重点とし、施策を進めていきます。

また、4つの重点を支える土台として「人権・同和教育」「特別支援教育」「キャリア教育」を推進し、各重点の具体的な施策の展開が一貫性と関連性を持ったものとなるよう努めます。

なお、事業実施にあたっては、教育振興プランの重点に沿った施策とその評価指標を設定し、効果を検証していきます。

教育振興プランの施策と評価指標

重点	No.	施策	評価指標
重点1 学びをつなぐ 授業	1	「くるめ授業スタンダード」を活用した授業改善	全国学力・学習状況調査（小6・中3）において全国平均正答率を上回る。 県学力調査（小5・中1・中2）と全国学力・学習状況調査において、県・全国を100とした場合の得点率が増加する。
	2	個に応じた教育活動の充実	「授業の内容がよくわかる」と答える児童生徒の割合が増加する。
	3	教育ICT活用・情報教育の推進	授業にICTを活用して指導することが「できる」「ややできる」と回答する教員の割合が増加する。
	4	外国語教育の充実	「CEFR A1」相当以上の力を有する生徒の割合が全国平均以上になる。
重点2 楽しい学校	1	不登校対応の徹底	不登校の出現率が全国平均以下になる。
	2	いじめ問題対応の徹底	いじめ認知件数が全国平均以上になる。
	3	学校安全への支援	日本スポーツ振興センター災害給付対象けが件数が減少する。
	4	仲間づくりの視点を大切にした活動の充実	「学級みんなで話し合っただけで決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがある」と答える児童生徒の割合が増加する。

重点	No.	施策	評価指標
重点3 笑顔の先生	1	教師力向上への支援	「先生は、よさを認めてくれる」と答える児童生徒の割合が増加する。
	2	業務改善への支援	「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」と答える児童生徒の割合が増加する。
重点4 協働する学校 ・家庭・地域	1	学習習慣定着への支援	「家庭等で1時間以上学習する」「家で計画を立てて勉強している」と答える児童生徒の割合が増加する。
	2	地域学校協議会提言の実働化への支援	地域学校協議会提言の達成率が増加する。
	3	中学校区人権のまちづくりへの支援	「自分にはよいところがあると思う」「人が困っているときは進んで助ける」と答える児童生徒の割合が増加する。

重点1 学びをつなぐ授業【主体的・対話的で深い学び】

- ① 「くるめ授業スタンダード」を活用しながら、現在の学びを過去や未来の学びとつなぐ、友達や地域の方々など他者とつなぐ、各教科等の学びとつなぐ「主体的・対話的で深い学び」となるように毎日の授業を見直します。
そして、子どもが基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けるとともに、これらを活用して課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を伸ばすことで、「自ら学びたくなる、わかる・できる喜びを味わう」授業づくりを進めます。
- ② インクルーシブ教育システムの構築に向けて、ユニバーサルデザインの視点による授業づくりを進めるとともに、個別の教育支援計画、個別の指導計画に基づく個に応じたきめ細かな支援を行う特別支援教育を充実させます。
- ③ 超スマート社会（Society5.0）時代の到来を踏まえ、情報を収集し、目的に合わせて加工する情報活用能力を身に付けるための教育活動を充実させます。
- ④ 多文化共生社会の実現をめざし、多様な国籍や民族などの背景をもつ人々の文化や自国文化の理解を深め、コミュニケーション力を育てる外国語教育を充実させます。

主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
重点事業 1 小・中学校学力・生活実態調査事業	学校教育課	児童生徒の学力等の実態を把握し、分析・考察した結果をもとに授業改善と教員の指導力向上を図る。	計 16,909 小 9,308 中 7,601
重点事業 2 小学校くるめ学力アップ推進事業	学校教育課	児童の学力向上をめざし、基礎的・基本的な学習内容の確実な習得と学習習慣の定着を図るために、「くるめ授業スタンダード」を活用した授業改善に取り組む。また、特色ある教育実践校の指定、全小学校を対象にした放課後学習会の支援、教育シンクタンク招聘による助言等を実施する。	4,748
重点事業 3 中学校くるめ学力アップ推進事業	学校教育課	生徒の学力向上をめざし、中学校の確かな学力の育成を図るために、「くるめ授業スタンダード」を活用した授業改善に取り組む。また、特色ある教育実践校の指定、全中学校を対象にした補充学習の支援、学力向上実践推進校の指定（1校）、教育シンクタンク招聘による助言等を実施する。	6,434
重点事業 4 小・中学校特別支援教育支援員活用事業	学校教育課	通常学級及び特別支援学級に在籍する教育上特別な支援を必要とする児童生徒がより良い学校生活を送ることができるよう特別支援教育支援員を全小中学校に配置する。	計 114,048 小 93,017 中 21,031
重点事業 5 発達障害支援事業	学校教育課	児童の発達に関する相談・支援窓口として子ども発達相談教室を設置する。また、ADHDの子どもへの包括的治療プログラムを行う「くるめSTP」事業への補助を行う。	4,142
重点事業 6 外国語指導助手活用事業	学校教育課	小学校外国語活動・外国語科と中学校の外国語科との円滑な接続をめざすとともに、外国語教育の充実を図り、外国語によるコミュニケーション能力の基礎や素地の育成を図るため、外国語指導助手（ALT）を配置する。	計 73,083 小 36,176 中 36,907
重点事業 7 小・中学校英語教育充実事業	学校教育課	生徒の英語運用能力の向上を図るため、4技能（読む、聞く、書く、話す）を測定するスコア型検定を実施し、その結果を授業改善に活かすための取組を行う。	13,653

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
重点事業 8 教育 ICT 活用事業	教育 ICT 推進課	国の GIGA スクール構想に基づき、全ての学校に整備した ICT 環境の効果的な活用を図り、誰一人取り残さない個別最適な学び・協働的な学びの実現に取り組む。 また、教育 I C T スクールサポートスタッフを配置する。	307, 528
小・中・特別支援学校図書活動の推進	教職員課	小・中・特別支援学校の学校図書館の充実を図るため、学校司書を配置する。	計 133, 915 小 94, 407 中 36, 461 特 3, 047
学校事務支援事業	教職員課	小・中・特別支援学校に事務補助職員を配置し、学校事務の支援を行う。	計 92, 451 小 62, 179 中 28, 682 特 1, 590
教育活動支援事業	教育 センター	教職員の教育活動を支援するため、授業づくりサポートの充実、図書室の整備、教育情報の提供、理科教育の推進、教育論文の執筆支援及び奨励を図る。	2, 394
教職員校内研修事業	学校教育課 教職員課	教職員の実践的な指導力を高めるため、教職員の研修や教科等の研究を推進する団体やグループに対して助成を行う。	計 3, 775 小 1, 307 中 718 特 1, 750
特別支援教育進路指導事業	学校教育課	久留米特別支援学校高等部の作業学習や現場実習への支援を行うことにより、卒業後の進路獲得を目指した進路指導の充実を図る。	4, 170
就学相談事業	学校教育課	障害のある幼児児童生徒の学校生活の充実を目的として、就学に際して個々の幼児児童生徒に適した教育支援の方策を検討するための就学相談会を実施する。	1, 351
外国人等児童生徒サポート事業	学校教育課	日本語理解が困難な外国人等の児童生徒が在籍する学校に語学能力を有するサポーターを派遣し、学習支援等を行う。また、支援が必要な学校に翻訳機を配備する。	3, 532

重点2 楽しい学校【安全・安心な学び舎】

- ① 「くるめアクションプラン」を活用しながら、いじめ問題や不登校の未然防止、早期発見、早期対応を徹底し、誰もが安心して学べる学校生活を目指します。
- ② 児童生徒が自分で自分の身を守ることを意識し、自ら安全な行動ができる力を育成する学校安全の取組や、心理及び福祉の専門的な知識経験を有するスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等による児童生徒の困りごとの解消に取り組みます。また、児童生徒が学校生活を安全かつ快適に送ることができるように、学校施設の計画的な整備に努めます。
- ③ 自分のよさや仲間のよさが実感できる学校になるように、人権が尊重される「学習活動づくり」「人間関係づくり」「環境づくり」を進め、人権・同和教育の取組を充実させます。

主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
重点事業9 小学校不登校対応 総合推進事業	学校教育課	不登校や不登校傾向等の解消を図るため、小学校に生徒指導サポーターを配置する。	16,374
重点事業10 中学校不登校対応 総合推進事業	学校教育課	不登校及び不登校傾向にある生徒に校内の居場所を作り、生徒指導、進路指導及び学習支援を行いながら、教室へ復帰するための支援を行うため、中学校の校内適応指導教室に助手を配置する。	30,903
重点事業11 不登校児童生徒対 策事業	青少年育成課	らるご久留米において、学校に行きたくても行けない児童生徒の基礎基本の学力向上と、様々な体験活動を通して社会的自立等へ向けた「心の安定」及び「心のエネルギーの回復」に努め、「自信の構築」「基本的生活習慣の改善」を図る。また、臨床心理士との連携により、児童生徒及び保護者のサポートを強化する。	8,160
重点事業12 生徒指導充実事業	学校教育課	中学校で生徒指導に対応する教員が生徒指導の諸問題への早期対応と解決を図っていくことのできる環境を整備する。 また、中学校生徒指導連絡協議会に対して活動助成を行う。	20,648

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
重点事業 13 スクールカウンセラー活用事業	学校教育課	学校の教育相談機能を高め、いじめ・不登校等の生徒指導上の諸問題の解決や発達障害等の教育上特別な支援を必要とする児童生徒の学校生活へのよりよい適応を促すとともに、保護者の不安解消、医療機関との連携の充実を図るため、心理に関する専門的な知識経験を有するスクールカウンセラーを配置する。	計 16,984 小・特・高 7,156 中 9,828
重点事業 14 スクールソーシャルワーカー活用事業	学校教育課	学校・家庭・関係機関の協働体制を築くための支援を行い、困りごとを抱えた児童生徒がおかれた環境へ働きかけ、課題解決への対応を図るため、福祉分野の諸制度等に関する専門知識を有するスクールソーシャルワーカーを配置する。	—
重点事業 15 学校施設の整備充実事業	学校施設課	児童生徒の生命を守り、災害時の避難施設を確保し、多様で新しい学習活動に対応した教育環境の整備を進めるため、学校施設の改築を計画的・効率的に行う。	計 178,321 小 2,546 中 175,775
重点事業 16 学校施設の長寿命化事業	学校施設課	学校施設における建替コストの縮減、改修時期の調整による財政の平準化、環境負荷の低減などを図るため、外壁・防水工事、LED照明等の施設の長寿命化を図る。	計 847,103 小 502,327 中 257,625 特 79,299 高 7,852 (繰越含む)
学校問題解決支援事業	学校教育課	法的、専門的な知識を必要とする保護者等からの要求や学校の重大事件・事故等の緊急的な対応が必要な事案に対して、各分野の専門家からなる相談体制を確立し、学校への助言等を行う。	530
生徒指導連絡協議会助成	学校教育課	問題行動等を防止し、児童生徒の健全な育成を図るため、生徒指導連絡協議会や学校警察連絡協議会に対して活動助成を行う。	計 148 小 109 高 39
SC・SSW スーパーバイザー活用事業	学校教育課	教育相談体制の強化を図るため、経験豊かで専門的知見を有するスーパーバイザーを配置し、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーに指導助言を行う。	1,565

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
学校施設維持管理 事業	学校施設課	学校施設における機能の維持改善を図るとともに、小学校の門扉改修、中学校の擁壁改修等、安全で快適な学習環境づくりに向けた整備を行う。	計 360,314 小 222,019 中 62,418 特 13,486 高 62,391 (繰越含む)
空調機整備事業	学校施設課	耐用年数を超えている教室及び管理諸室（校長室・職員室・事務室・保健室・図書室等）の既設空調機の更新を行う。	計 69,787 小 55,009 中 14,778 (繰越含む)

重点3 笑顔の先生【教師力の向上と子どもと向き合う時間の確保】

① 教職員のキャリアステージに応じて求められる資質・能力を整理した育成指標に基づく教員研修の充実や教育活動の支援を通して、教員一人ひとりの授業力や学級経営力、保護者や地域との連携や使命感の向上に努めます。

② 教職員の働き方に関する意識改革と学校の役割と家庭・地域の役割を明確にすることを通して、教師が本来の業務に専念できるなど業務改善を進めます。

また、久留米市部活動方針の運用や学校を支える専門スタッフとの協働など、働き方改革を通して、児童生徒に接する時間を十分に確保し、笑顔で子どもたちに向き合う先生の環境づくりを推進します。

主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
重点事業17 教職員研修事業	教育 センター	教育の専門家として、自ら学び続ける教職員を育成するために、育成指標に基づくキャリアステージに応じた研修や本市の教育課題に対応した研修を計画的に実施する。	14,421
重点事業18 学校における働き 方改革推進事業	教職員課	勤務時間を意識した働き方改革を進め、教職員の業務改善の取組を推進し、勤務環境整備のための支援を充実させることで、教職員の多忙化解消を図る。また、教員業務支援員を一部配置する。	10,184

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
重点事業 19 学校 ICT 環境整備 事業	教育 ICT 推進課	教育イントラネットやデータセンターに一元化したファイルサーバ等について、安定的な運用を図る。 また、学習指導や生徒指導に活用するために、児童生徒一人ひとりの様々の情報を一元管理する校務支援システムの保守、サポート体制を整えることで、システムの安定稼動・運用を行う。	141,200
教科等教育研究推進事業	学校教育課	教職員の実践的指導力の向上を図るため、国・県・市の研究指定校、教職員研修や教科等の研究を推進する団体やグループに対して補助金の交付を行う。	3,546
中学校部活動活性化事業	学校教育課	競技大会等を運営する中学校体育連盟・中学校文化連盟に対し運営費、大会経費及び生徒の移動旅費に係る財政的支援を行う。また、持続可能な部活動の運営ができるように部活動指導員を配置する。さらに、部活動指導員及び外部指導者の指導中の事故等に対応するためスポーツ安全保険に加入する。	22,586
教育課題研究事業	教育 センター	本市の教育課題を解決するため、調査研究に取り組み、市主催研修等を通して、その成果を普及する。	443
情報教育環境の充実	教育 ICT 推進課	校務用・教育用ノートパソコンやパソコン教室の整備及び必要なメンテナンスを行う。 また、情報の収集・発信・交流を行うことができるよう、インターネット環境を整えるなど情報教育環境の充実を図る。	88,381

重点4 協働する学校・家庭・地域【コミュニティ・スクールの推進】

- ① 学校を支えるスタッフや授業支援への地域人材の積極的な活用を図ることで、子どもたちの学習習慣定着や基礎的・基本的な知識・技能の定着を中心とした取組、家庭と連携して健やかな成長を支える生活習慣づくりへの支援などを進めます。
- ② 小中学校に設置している地域学校協議会による提言の実働化への支援を図り、地域と学校の協働活動を一層充実させます。また、国の動向を踏まえ、コミュニティ・スクールモデル校事業を実施し、コミュニティ・スクールへの移行に向けた組織や機能のあり方についての検討を進めます。
- ③ 全中学校区に設立されている人権のまちづくり推進協議会による誰もが安心して暮らすことができる心豊かなまちづくりへの支援を図り、地域コミュニティと学園コミュニティを両輪とした人権のまちづくりを一層充実させます。

主な事業の概要

小学校くるめ学力アップ推進事業（重点事業2）、中学校くるめ学力アップ推進事業（重点事業3）は、重点4に含みます。

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
重点事業 20 小・中学校コミュニティ・スクール（久留米版）推進事業	学校教育課	学校・家庭・地域が協働して行う体験活動や教育活動を充実することで、地域の教育力を学校運営に取り入れ、地域とともにある学校づくりを推進する。 そのため、学校規模に応じた補助金や、地域学校協議会プランの提言を実働化させるための補助金、モデル校における学校運営協議会の検証及び地域学校協働活動に対する補助金を交付する。	計 24,369 小 18,117 中 6,252
重点事業 21 人権教育・啓発推進事業	学校教育課	自他の人権を守り、差別をなくす意志と実践力を身に付け、豊かな人権感覚をもった市民・児童生徒の育成を図るために、全中学校区毎に学園コミュニティ及び地域コミュニティが連携・協働し、地域の実態や課題に応じた人権教育・啓発活動を推進する。	6,600
P T A団体助成	教育部総務	家庭教育と学校教育との連携を深め、児童生徒の健全育成を図るため、久留米市小・中学校P T A連合協議会に対して補助金を交付する。	2,920
社会人権・同和教育事業	学校教育課	社会人権・同和教育を推進し、差別のない地域社会の実現をめざすため、社会人権・同和教育研修等による団体等の育成及び進路保障を図るための事業を実施する。	12,020

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
小・中・高等学校人権・同和教育事業	学校教育課	人権・同和教育の振興・充実に資するため、部落差別をはじめとする様々な差別の現実に関し、教職員の人権についての認識を深めるとともに、その研究成果を広く啓発・普及する。	1,901
学校人権・同和教育事業	学校教育課	差別をなくす意志と実践力を持った児童生徒を育成し、社会に存在する差別意識を解消するため、久留米市人権・同和教育研究協議会の育成、質問教室の実施、就園・就学・進学奨励金等の給付を行うなど、基本的人権を尊重する意識を醸成する教育活動を推進する。	20,504

その他の施策

主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
重点事業 22 食育プログラム研究推進事業	学校教育課	子どもたちの食に関する正しい知識と望ましい食習慣、基本的な生活習慣を育成するため、栄養教諭等研究会や食育推進校のPTAに対する助成を行う。	401
重点事業 23 医療的ケア対応事業	学校教育課	医療的ケアを必要とする児童生徒に対応するため、小学校、中学校及び久留米特別支援学校に看護師を配置し、子どもの状況に的確に対応できる安全な教育環境の整備を図る。	51,709
重点事業 24 中学校美術教育振興事業	学校教育課	中学生の美術に関する興味・関心を高め、豊かな心と郷土を愛する心を育むため、中学校第1学年の生徒が久留米市美術館等の企画展・常設展を鑑賞するためのバスの借上げを行う。	2,768
重点事業 25 学校規模対策事業	学校教育課	小学校の小規模化と学校施設の老朽化の視点を踏まえ、より良い教育条件・教育環境の整備を図ることを目的に、久留米市立小学校小規模化対応方針の改定を行い、小学校の統合を進めるための協議や調整を行う。	1,062
学校訪問看護支援事業	学校教育課	医療的ケアを必要とする児童生徒の保護者が、学校活動において訪問看護制度を活用する際の補助を行う。	4,291

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)									
中学校生徒会支援事業	学校教育課	中学校の生徒会の交流を促進し、生徒会活動を活性化することで、生徒による学校運営の円滑化と課題の解決を図る。	88									
久留米市奨学金	学校教育課	<p>経済的な理由により高等学校等の修学が困難な者に対し奨学金を給付する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>入学一時金(円)</th> <th>月奨学金(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公立</td> <td>20,000</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>30,000</td> <td>7,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 高校生等奨学給付金の支給要件を満たさない者の月奨学金は7,000円</p>		入学一時金(円)	月奨学金(円)	公立	20,000	5,000	私立	30,000	7,000	19,088
	入学一時金(円)	月奨学金(円)										
公立	20,000	5,000										
私立	30,000	7,000										
就学援助事業	学校保健課	小・中学校に通学する児童・生徒で、経済的理由により就学が困難な者の保護者に対し、学用品費や給食費、PTA会費、生徒(児童)会費、クラブ活動費などを支給する。	計 537,329 小 304,022 中 232,649 特 658									
定期健康診断	学校保健課	児童生徒及び教職員の健康診断を実施し、健康管理の推進を図る。	計 43,821 小 24,233 中 13,895 特 1,769 高 3,924									
歯科保健指導事業	学校保健課	学校歯科医の指導のもとに歯科衛生士を久留米市立小学校に派遣し、小学校2年生を対象に歯磨指導を行う。	930									
学校保健会助成	学校保健課	各学校が実施する保健事業を支援することにより、学校保健衛生の普及向上に資する。	2,416									
学校給食の充実	学校保健課	学校給食運営の効率化とともに、安全衛生管理の徹底や、給食施設・設備等の更新・修繕を行い、安全安心な学校給食を提供する。	計 673,605 小 617,315 中 28,920 特 27,370									

II 生涯学び、活躍できる環境を整え、心豊かな市民生活をおくることができるまちづくり

1 生涯学習・社会教育の推進

市民が生涯にわたり自己実現を図っていくことができるよう、生涯学習の振興に努め、全市的な生涯学習ネットワークの確立を図るとともに、青少年健全育成の推進、家庭・地域社会の教育力の向上、社会人権・同和教育の推進など、地域に根ざした市民主体の生涯学習・社会教育の推進に取り組みます。また、利用者が安全で安心して利用できるよう生涯学習施設等の改修を進めます。

主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
重点事業 26 地域生涯学習振興事業	生涯学習推進課	校区等において実施される委嘱学級や土曜塾をはじめとする生涯学習事業に対して、財政支援や指導者の養成などの各種支援を行い、地域における生涯学習の振興を図る。	67,482
重点事業 27 体験活動推進事業	生涯学習推進課	少年の翼、アドベンチャーキャンプ、わくわく遊友体験などの体験活動事業を通じ、団体生活の楽しさや友情の深まりなどを体験する場を創出し、子どもたちの自主性・協調性・創造性を育む。	4,698
社会教育団体支援事業	生涯学習推進課	LL ネットコアくるめや子ども会連合会、女性の会婦人会連絡協議会をはじめとする各社会教育団体の活動振興のため、財政支援や活動助言、指導等の各種支援を行う。	22,170
生涯学習センター活用事業	生涯学習推進課	各地域における生涯学習センターを広く活用した各種講座等を実施することにより、市民の生涯学習の推進を図る。	6,233
生涯学習センター維持補修事業	生涯学習推進課	えーるピア久留米をはじめ、各地域の生涯学習センターについて、経年劣化に応じた維持補修を行う。	43,534
そよ風ホール維持補修事業	生涯学習推進課	そよ風ホールについて、経年劣化に応じた維持補修を行う。	119,802
城島総合文化センター維持補修事業	生涯学習推進課	城島総合文化センターについて、経年劣化に応じた維持補修を行う。	197,422
社会人権・同和研修事業	生涯学習推進課	同和問題をはじめとする様々な人権問題に関して「なるほど人権セミナー」等の啓発事業を実施するほか、人権・同和教育を推進するリーダーの養成、校区コミュニティセンター等における人権学習の振興を図る。	1,874

2 歴史遺産の保存・活用

久留米市が有する歴史遺産の適正な保存とその活用に努めるとともに、市民意識の醸成や地域文化の継承に役立っています。また、地域の活性化につなげるために、地域と連携した事業の展開を図り、交流人口の増加に取り組みます。

特に、令和3年度に大名有馬家久留米城400年の年に開催予定であったものの、新型コロナウイルス感染拡大のために開催できなかった、久留米市初の雅楽公演会を開催するなど、高い効果が期待できる事業を展開します。

併せて、歴史遺産の保存と活用の方針と具体的な取り組みを示した「文化財保存活用地域計画」に基づき、市内に所在する歴史遺産の保存と活用を進めていきます。

主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
重点事業 28 歴史資料保存活用事業	文化財保護課	地域文化を知り、創造し、継承するため、歴史資料の収集と適正な保存管理を図る。 また、六ツ門図書館展示コーナー等での展示を通じて資料の活用を図り、郷土の歴史に関する市民意識の高揚と、地域文化の継承に役立てる。	7,717
重点事業 29 筑後国府跡歴史公園整備事業	文化財保護課	久留米市を代表する歴史遺産である筑後国府跡を、市民が身近な場所で歴史を感じることができる歴史公園として保存整備を図る。歴史学習や地域活動の場を提供し、市民の「郷土」に対する愛着心を高めるとともに、歴史遺産の価値と魅力を未来に向けて継承する。	36,867
重点事業 30 歴史ルートづくり事業	文化財保護課	市内に数多く存在する歴史遺産を整理・集積し、歴史的背景に基づくストーリーの設定や周知イベントの実施により、地域の魅力を発信する。 同時に、拠点となる歴史スポット等の整備を行い、安全で魅力的な環境づくりを推進するとともに、交流人口の増加を目指す。	3,715
重点事業 31 久留米入城400年事業	文化財保護課	大名有馬家が久留米城に入城してから、令和3年度で400年を迎えた。昨年中止となった久留米入城400年関連記念事業の雅楽公演会、城下町めぐり等のイベントや、久留米城3D動画の作成を実施し、文化財保護意識の醸成と地域の魅力向上及び活性化につなげ、「歴史のまち久留米」のブランド化を図る。	11,690

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
発掘調査事業	文化財保護課	国民の共有財産である貴重な埋蔵文化財を保護するため、開発により現状が維持できない場合は、記録保存を目的とした発掘調査を行う。 わが国及び久留米地域の歴史文化の正しい理解を促し、市民の郷土愛を醸成するとともに、地域の文化活動の展開やまちづくり活動を支援する。	162,554
埋蔵文化財センター事業	文化財保護課	発掘調査に伴う出土品や記録類の集中管理及び調査研究を行う。 また、市民の多様な文化活動の展開を支援するため、発掘調査成果を公開する展示会や体験学習などの普及活動を実施する。	2,278
歴史的建造物保存整備事業	文化財保護課	市内に残る歴史的価値のある建造物の調査・保存整備・活用を図り、市民へ周知するとともに、その魅力を内外に向けて発信できる人づくりとまちづくりを推進する。	2,535
史跡等環境整備活用事業	文化財保護課	地域の特性を生かした「歴史の広場」の整備を進め、史跡を適切に管理するとともに、説明板の設置などまちづくりの素材としても活用を図る。また、文化財の周知、普及活動を積極的に展開する。	10,327
坂本繁二郎生家活用事業	文化財保護課	坂本繁二郎生家は、久留米城下町に唯一残る武家屋敷を復原したもので、活用事業として体験講座等を実施するとともに、貸室の利用促進に努める。 また、歴史のプロムナードとして、関係施設等と連携を図り、地域の回遊性を向上させる。	322
文化財保護団体等育成事業	文化財保護課	文化財の管理、普及活動及び無形民俗文化財の継承を行っている団体に対し補助金の交付を行うことで、文化財の保護を図る。	1,288
社会教育施設営繕保全事業	文化財保護課	老朽化した坂本繁二郎茅葺屋根改修や大善寺旧庫裡の改修及び設計のための雨漏り調査を行い、文化財の保存と活用を図る。	15,136

3 スポーツの推進

久留米市のスポーツ分野における基本的な方向性を示した「久留米市スポーツ推進計画」（令和2年度から7年度）の基本方針である「スポーツ参画人口の拡大」「スポーツ環境の基盤となる「人材」と「場」の充実」「スポーツを通じた、活力があり絆の強い社会の実現」を目指すことで、スポーツの推進を図ります。

また、県南の中核都市にふさわしいスポーツ事業・コンベンション・施設整備・組織づくりの推進に向け、久留米アリーナをはじめ施設の有効活用を図ります。

併せて、市民が安心して利用できるようスポーツ施設の老朽化対応や機能向上を目的とした計画的な改修を進めます。

主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
重点事業 32 MICE 誘致推進事業	体育スポーツ課	オリンピック・パラリンピック事前キャンプのノウハウを活かし、久留米アリーナ等を活用した大規模スポーツ大会等の誘致を推進するとともに、事前キャンプのレガシーとしてケニア、カザフスタン両国とのホストタウンスポーツ交流を実施する。	1,698
スポーツ大会振興事業	体育スポーツ課	全国・九州規模のスポーツ大会を誘致開催し身近に見ていただくことで、スポーツを始めるきっかけをつくとともに、市民のスポーツ技術向上と競技スポーツの振興を図る。	5,000
スポーツ交流推進事業	体育スポーツ課	スポーツを通じて、近隣市町村及び市民間の交流を推進し、お互いの友好親睦を深めることで活動の広域化を図り、市民スポーツを振興する。	4,902
スポーツ推進委員養成事業	体育スポーツ課	スポーツ推進委員を対象としたスポーツ全般に関する知識・技術・指導力を高めるための研修会や講習会を実施し、地域スポーツの振興のための実技指導及び助言を行うコーディネーターとしての資質向上を図る。	8,307
(公財)久留米市スポーツ協会助成事業	体育スポーツ課	すべての市民が手軽にスポーツに参加することを目指し、各種大会への参加奨励、各競技団体が開催するスポーツ大会への支援や指導者の育成などを(公財)久留米市スポーツ協会を通じて実施し、市民の生涯スポーツの普及推進を図る。	56,329

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
重点事業 33 市民スポーツ推進 事業	体育スポーツ課	<p>① 市民が主体的にスポーツと触れ合う仕組みを提供し、広くスポーツの恩恵を享受できるような環境を整備し、ひいては市民のスポーツ実施率向上を目指す。</p> <p>② 国際大会等での活躍が期待できる久留米市ゆかりのジュニアアスリートが競技に専念できる環境整備の強化を図る。</p>	5,684
保健体育施設事業	体育スポーツ課	<p>市内体育施設を適切に管理運営することで、市民サービスの向上及び安全・安心な利用につなげる。</p> <p><主な内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育施設の指定管理業務 	238,706
体育施設維持補修事業	体育スポーツ課	<p>スポーツ施設の老朽化に伴い、計画的に補修・改修を行うことにより利用者のサービス向上と社会体育施設の安全性を確保する。</p> <p><主な内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・西部地区体育館屋上防水及び空調設備改修 	55,238

4 市民の自己学習の場としての図書館づくり

市民一人ひとりの学びと情報の拠点として、市民生活の充実と地域社会の発展を支える役割を担うため、多様な図書資料や情報の収集・整理・保存を行い、利用者への適切な提供や企画展示など積極的な活用を図ります。

また、各地域館や図書施設とのネットワークの促進、石橋文化センターや久留米市美術館など隣接施設・関係団体等との連携を深め、利用者ニーズに応じたサービスの充実を図ります。加えて、利用者が使いやすい図書館づくりのため、中央図書館の施設・機能の整備を行います。

主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
重点事業 34 子どもの読書環境整備事業	中央図書館	① 第4次久留米市子どもの読書活動推進計画の推進 第4次久留米市子どもの読書活動推進計画(令和2年度～7年度)に基づき、子どもが心豊かな生活を送れるよう本との出会いと読書習慣の定着を進めるため、子どもの読書活動を推進する環境整備を進める。 ② ブックスタート事業 子どもと絵本をつなぐきっかけづくりを目的として、子どもの健やかな成長などに効果があるブックスタート事業を実施する。	5,977
重点事業 35 図書館整備事業	中央図書館	① 図書館施設・機能の整備充実 安全で快適な読書空間の提供と図書資料・情報の確保、積極的な情報発信に努めることで、図書館機能の充実を図り、市民の生涯学習ニーズに対応する。令和4年度は、図書館総合管理システムの再構築、中央図書館駐車場出入口の安全対策の測量・調査分析、電子図書館の導入についての検討を進めていく。 ② 福祉サービスの提供と市民との協働 ボランティアとの協働による録音・点字図書の製作や活用、対面朗読など福祉サービスを充実する。 ③ 図書館来館困難者へのサービス提供 高齢や障害、図書館遠隔地など、図書館を利用しにくい環境にある市民に対し、移動図書館巡回や団体貸出、有料宅配などのサービス提供に努める。	107,768

Ⅲ 新型コロナウイルス感染症対策

1 新型コロナウイルス感染症対策関連事業

新型コロナウイルス感染症の収束が不透明な中、引き続き感染症対策を行いながら、児童生徒の学びを保障する取組を進めます。

主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
教育 ICT 活用事業	教育 ICT 推進課	コロナ禍においても円滑な教育活動を促進するため、小・中・特別支援学校・高校における ICT 環境の充実を図る。 また、教師等の業務をサポートする教育 ICT スクールサポートスタッフを配置する。	89,260
久留米市立学校における働き方改革推進事業	教職員課	教員等の業務をサポートする教員業務支援員を配置する。	10,184
学びの保障事業	学校教育課 南筑高校 久留米商業高校	児童生徒一人ひとりの学習定着度に応じたきめ細かな指導や、特別な教育上の支援が必要な児童生徒への支援を行うための学習指導員を配置する。	計 8,594 小 5,210 中 745 特 1,489 高 1,150
スクールバス運行事業	学校教育課	新型コロナウイルス感染症対策のため、特別支援学校のスクールバスを増便する。	65,512
小学校施設維持管理事業	学校施設課	分散授業を行うための教室改修及び空調機等の電力需要増により容量不足が見込まれる小学校 2 校の変圧器を改修する。	70,336
小学校施設長寿命化事業	学校施設課	感染症予防の観点も踏まえ、小学校 2 校のトイレを洋式化・ドライ化する。	92,176

2 感染拡大を防止するための環境づくり

「児童生徒の3密状態を可能な限り回避する」「消毒・換気・手洗い・マスク着用の励行等の感染症対策を行う」等に取り組みます。

学校における取組事例

- 時間分散 … 図書室利用、昼休み、下校時間、給食の受取と返却等の時間を学年・学級毎にずらす等
- 場所分散 … 少人数授業、分散給食、第2保健室の設置、図書室利用等の実施
- 学習活動 … シールドを活用したペア学習や音楽科の学習等
- 消毒作業 … 教職員のほか、地域及び保護者との連携による実施



シールドを活用したペア学習



シールドを活用した音楽科の学習



分散給食（特別教室と2分割）



入室人数を制限する図書室利用

3 児童生徒の心のケア

(1) 感染者や濃厚接触者等に対する偏見や差別等の禁止

感染者や濃厚接触者とその家族、治療等に従事する医療従事者やその家族等に対する偏見や差別につながるような行為は、決して許されないものであり、感染症に関する適切な知識を児童生徒の発達段階に応じて行うことなどを通して、このような偏見や差別が生じないようにします。

(2) 困りごとを抱える児童生徒への支援

心理に関する専門的な知識経験を有するスクールカウンセラーや、福祉分野の諸制度に関する専門知識を有するスクールソーシャルワーカーを各学校へ派遣し、コロナ禍において困りごとを抱える児童生徒に対して本人や保護者へのカウンセリングを行ったり、児童生徒を取り巻く環境へ働きかけたりするなど、課題解決への対応を図ります。

4 ICTを活用した取り組み

校内情報通信ネットワーク環境やコンピュータ端末などの ICT 環境の充実・活用を図り、新型コロナウイルス感染症による影響が残る中でも学びを止めないために、誰一人取り残すことのない個別最適な学び・協働的な学びの実現を目指します。

IV 教育施策の重点事業


○ 学校教育

重点事業No.	事業名
1	小・中学校学力・生活実態調査事業
2	小学校くるめ学力アップ推進事業
3	中学校くるめ学力アップ推進事業
4	小・中学校特別支援教育支援員活用事業
5	発達障害支援事業
6	外国語指導助手活用事業
7	小・中学校英語教育充実事業
8	教育ICT活用事業
9	小学校不登校対応総合推進事業
10	中学校不登校対応総合推進事業
11	不登校児童生徒対策事業
12	生徒指導充実事業
13-1	スクールカウンセラー活用事業（小・特別支援学校・高校）
13-2	スクールカウンセラー活用事業（中学校）
14	スクールソーシャルワーカー活用事業
15	学校施設の整備充実事業
16	学校施設の長寿命化事業
17	教職員研修事業
18	学校における働き方改革推進事業
19	学校ICT環境整備事業
20	小・中学校コミュニティ・スクール（久留米版）推進事業
21	人権教育・啓発推進事業
22	食育プログラム研究推進事業
23	医療的ケア対応事業
24	中学校美術教育振興事業
25	学校規模対策事業

○ 社会教育

重点事業No.	事業名
26	地域生涯学習振興事業（委嘱学級）
27	体験活動推進事業（少年の翼事業）
28	歴史資料保存活用事業
29	筑後国府跡歴史公園整備事業
30	歴史ルートづくり事業
31	久留米入城400年事業
32	MICE誘致推進事業
33	市民スポーツ推進事業
34	子どもの読書環境整備事業
35	図書館整備事業

重点事業 1

事業名	小・中学校学力・生活実態調査事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R2 決算 0 千円	R3 予算 16,909 千円	R4 予算 16,909 千円
事業目的	児童生徒の学力・生活実態を把握し、それに基づく指導方法の工夫改善を行うことで、教職員の指導力の向上を図るとともに児童生徒の学力の向上を目指す。				
事業内容	<p>(1) 小学校及び中学校において、学力・生活実態調査を行う。</p> <p>○小学校 (R4.4) 第2～4 学年 国語・算数・質問紙</p> <p>○中学校 (R4.4) 第1 学年 国語・数学・質問紙 第2 学年 国語・数学・英語・質問紙</p> <p>(2) 調査結果をもとに、各学校の学力向上の取組の見直し及び授業改善、保護者・地域への基本的な生活習慣・学習習慣確立のための協力依頼を行う。</p>  <div style="text-align: center;"> <p>学力実態調査事業</p> <p>↓</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>標準学力検査の実施</p> <p>【小学校】 2～4 年 国語・算数</p> <p>【中学校】 1 年：国語・数学 2 年：国語・数学・英語</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>生活実態調査の実施</p> <p>学習状況や生活習慣等 (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業以外の学習時間 ・授業が分かる ・朝食を摂る </div> </div> <p>↓</p> <p>学力等の現状把握と分析</p> <p>○学力及び生活習慣等の現状把握 ○課題とその要因の分析 ○学力向上に向けた方策の検討</p> <p>↓</p> <p>各学校におけるプランの策定</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>「つくる力」「つなぐ力」「つらぬく力」の育成</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>学習習慣の定着 (家庭・地域との協働)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>○学びをつなぐ授業 ○楽しい学校 ○協働する家庭・学校・地域</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>教員の指導力向上 (日常的な授業改善)</p> </div> </div> <p>↑</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>学力基盤づくり (補充学習や少人数授業等の実施)</p> </div> </div>				
事業目標 成果指標	調査対象学年における質問紙「授業がよく分かる」に対する肯定的回答の割合が増加する。	区分	R2 実績	R3 実績	R4 目標値
		小2	なし	86.2	それぞれの回答の割合が増加
		小3		88.1	
		小4		90.8	
		中1		89.4	
		中2		84.0	

重点事業2

事業名	小学校くるめ学力アップ推進事業		担当課	学校教育課				
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	拡充	事業費	R2 決算 6,741千円	R3 予算 10,074千円	R4 予算 4,748千円			
事業目的	児童の学力向上を目指し、基礎的・基本的な学習内容の確実な習得を図る学習指導、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善、学習習慣の定着を図る取組を推進する。							
事業内容	<p>① 全小学校に対して学生、地域ボランティアを派遣することで、基礎的・基本的な学習内容と学習習慣を定着させる。</p> <p>② 校長のリーダーシップのもと、学校の伝統や強みを活かした取組や、非認知能力育成の観点から学力向上を図る取組等、新規性のある教育活動を主体的に行う学校を公募により指定することで、学習指導や授業づくりの改善を図る。</p> <p>③ 学校現場で生かせる研究実践についての知見を有する学識経験者を市教育委員会のシンクタンクとして招聘することで、市立小学校の実践に対する指導・助言、市教育委員会への指導・助言を行う研修会を実施し、全小学校において理論が裏付けられた説得力のある実践を推進する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>小学校くるめ学力アップ推進事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> <p>基礎基本と学習習慣の定着</p> <p>学生、地域ボランティアを派遣することで、基礎的・基本的な学習内容と学習習慣を定着させる</p> </td> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> <p>特色ある教育実践指定</p> <p>非認知能力育成の観点から学力向上を図る教育活動を主体的に行う学校を指定し、学習指導や授業づくりの改善を図る</p> </td> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> <p>教育シンクタンク招聘</p> <p>学識経験者をシンクタンクとして招聘し、全小学校で理論が裏付けられた説得力のある実践を推進する</p> </td> </tr> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">基礎的・基本的な学習内容の確実な習得を図る学習指導 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 学習習慣の定着を図る取組</p> <p style="font-size: large; font-weight: bold; margin-top: 10px;">久留米市の児童の学力の向上</p> </div>					<p>基礎基本と学習習慣の定着</p> <p>学生、地域ボランティアを派遣することで、基礎的・基本的な学習内容と学習習慣を定着させる</p>	<p>特色ある教育実践指定</p> <p>非認知能力育成の観点から学力向上を図る教育活動を主体的に行う学校を指定し、学習指導や授業づくりの改善を図る</p>	<p>教育シンクタンク招聘</p> <p>学識経験者をシンクタンクとして招聘し、全小学校で理論が裏付けられた説得力のある実践を推進する</p>
<p>基礎基本と学習習慣の定着</p> <p>学生、地域ボランティアを派遣することで、基礎的・基本的な学習内容と学習習慣を定着させる</p>	<p>特色ある教育実践指定</p> <p>非認知能力育成の観点から学力向上を図る教育活動を主体的に行う学校を指定し、学習指導や授業づくりの改善を図る</p>	<p>教育シンクタンク招聘</p> <p>学識経験者をシンクタンクとして招聘し、全小学校で理論が裏付けられた説得力のある実践を推進する</p>						
事業目標 成果指標	県学力調査（小5）において県を100とした場合の得点率（標準化得点）、全国学力・学習状況調査（小6）において全国を100とした場合の得点率（標準化得点）が上昇する。	教科 区分	R2 実績	R3 実績	R4 目標値			
		県学力調査 小5 国語	94.7	93.2	標準化得点が 100以上			
		県学力調査 小5 算数	94.7	93.8				
		全国学力調査 小6 国語	なし	97.8				
		全国学力調査 小6 算数		98.2				

重点事業3

事業名	中学校くるめ学力アップ推進事業			担当課	学校教育課		
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	見直し 拡充	事業費	R2 決算	R3 予算	R4 予算		
			4,565 千円	9,667 千円	6,434 千円		
事業目的	生徒の学力向上をめざし、学校における授業改善を促し、生徒の基礎的・基本的な学習内容の確実な習得と学習習慣の定着を図る。						
事業内容	<p>① 放課後学習会等を支援するために、学生及び地域の方から学習ボランティアを募り、各中学校に派遣する。</p> <p>② 校長のリーダーシップのもと、学校の伝統や強みを活かした取組を主体的に行う学校を公募で指定し、学力向上につながる特色ある教育を実践する。</p> <p>③ 理論に裏打ちされた説得力のある実践を進めるため、学校現場で活かせる研究実践を行う学識経験者を市教育委員会のシンクタンクとして招聘する。</p>						
	<div style="text-align: center;"> <p>久留米市教育シンクタンク</p> <p>中学校くるめ学力アップ推進事業</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 30%;"> <p>学習習慣定着事業 学生や地域のボランティアを派遣し補充学習を実施（全10校）</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 30%;"> <p>放課後学習会 学習コーディネーターや学習指導員を配置し、放課後等に補充学習を実施（全7校）</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 30%;"> <p>特色ある教育実践指定校 特色ある教育実践指定校の実践的な研究の実施（2校）</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>学習内容の習得・学習習慣の定着 学力向上への企画・推進 組織体制の確立・人材育成</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>確かな学力の育成</p> </div>						
事業目標 成果指標	県学力調査(中1・2)と全国学力・学習状況調査(中3)において、県を100とした場合の得点率(標準化得点)が上昇する。	学年	R2 実績		R3 実績		R4 目標値
			国	数	国	数	
		中1	98.5	98.1	95.8	94.4	標準化得点が前回より上昇する。
		中2	95.5	89.7	96.7	97.5	
中3	不実施		95.4	94.8			

重点事業 4

事業名	小・中学校特別支援教育支援員活用事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R2 決算	R3 予算	R4 予算
			119,725 千円	104,536 千円	114,048 千円
事業目的	通常学級及び特別支援学級に在籍する教育上特別な支援を必要とする児童生徒がより良い学校生活を送ることができるよう、特別支援教育支援員を全小中学校に配置する。				
事業内容	<p>① 特別支援教育支援員を学校に配置し、授業を行う教員の一齐指示だけでは理解したり行動したりすることが難しい児童生徒に対して、補助的な指示や学習活動のサポートなどを行う。また、授業中に教室を離れる児童生徒の居場所の確認や安全の確保、肢体不自由のある児童生徒の移動の際の補助、情緒が不安定な児童生徒にかかわり感情の高ぶりを落ち着かせる支援等を行う。</p> <p>② 特別支援教育支援員の役割や障害種別の特性理解について、講話等の研修を行い、個別の支援の充実を図る。</p>				
事業目標 成果指標	特別支援教育支援員研修会を受講した支援員の研修内容への満足度の向上	R2 実績	R3 実績	R4 目標値	
		98.3%	100%	100%	

重点事業 5

事業名	発達障害支援事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R2 決算	R3 予算	R4 予算
			3,453 千円	3,366 千円	4,142 千円
事業目的	発達障害を有する児童生徒に対する効果的・総合的な支援体制を整備する。				
事業内容	<p>① 相談・支援教室の設置</p> <p>久留米特別支援学校内に「子ども発達相談教室」を設置し、小学校に在籍する児童を対象にした相談への対応や関係機関とのコーディネートを行う。(令和4年度は、久留米市教育センターで実施)</p> <p>また、通常の学級に在籍しており、なおかつ幼児期に幼児教育研究所で支援を受けていた新一年生を対象に、子ども発達相談の枠を拡充し、幼児期から切れ目のない支援の充実を図る。</p> <p>② くるめサマー・トリートメント・プログラム (STP) の支援</p> <p>ADHDのある子どもへの包括的な治療プログラムである「くるめSTP」事業の運営補助を行う。</p> <div style="text-align: center;"> <p>子ども発達相談教室</p> <p>小学生（原則、通常の学級在籍）を対象に</p> <p>医学的な診断や教育的判断の相談 指導・支援方法について学校へ助言 関係機関へのコーディネート</p> <p>小学校</p> <p>特別支援学校 ↔ 特別支援学級 ↔ 通級による指導 ↔ 通常の学級</p> <p>久留米市立小学校における学びの場</p> <p>連携（指導内容、指導方法等）</p> <p>くるめサマー・トリートメントプログラム (STP)</p> </div>				
事業目標 成果指標	子ども発達相談教室の相談 件数（50件以上）の確保	R2 実績	R3 実績	R4 目標値	
		52 件	45 件	50 件以上	

重点事業 6

事業名	外国語指導助手活用事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R2 決算	R3 予算	R4 予算
			72,469 千円	73,519 千円	73,083 千円
事業目的	小学校外国語活動・外国語科と中学校の外国語科との円滑な接続をめざすとともに、外国語教育の充実を図り、外国語によるコミュニケーション能力の基礎や素地の育成を図る。				
事業内容	<p>① 中学校の全学年全学級に対し、外国語の年間授業時間 140 時間に対し、25 時間以上 A L T を配置できるよう計画する。</p> <p>② 小学校 3～4 年に対し、外国語活動の年間授業時数 35 時間の内 10 時間以上、また、小学校 5～6 年に対し、外国語の年間授業時数 70 時間の内 28 時間以上に A L T を派遣する。</p> <p>③ バーチャル英語授業を実施する。</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">小・中学校外国語指導助手活用事業</div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content; background-color: #ffffcc;">外国語指導助手 (ALT) の派遣</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin: 10px auto;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #e6e6fa; width: 40%;"> 中学校の外国語科担当教員との外国語科の授業、小学校中高学年の担任との外国語活動及び外国語科の授業、校内研等の講師、児童生徒への補充指導 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #e6ffe6; width: 40%;"> 【小学校の外国語科・外国語活動】 ○ 3・4 年の各学級で年間授業時数 35H に対して 10H 以上派遣 ○ 5・6 年の各学級で年間授業時数 70H に対して 28H 以上派遣 ○ 特色ある教育実践指定校に対して上記以上の時数及び学校が求める他教科・領域等の授業 ○ バーチャル英語授業の実施 </div> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px auto;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ffcc99; width: 60%;"> 小学校 中学校 特別支援学校 </div> <div style="margin-top: 10px;"> ⇕ 連携 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #e6ffe6; width: 40%; margin: 10px auto;"> 【中学校の外国語科】 ○ 1～3 年の各学級で、外国語科年間 140H に対して 25H 以上派遣 ○ バーチャル英語授業の実施 </div>				
事業目標 成果指標	市学力・生活実態調査の英語(中2)の平均正答率が全国平均以上	R2 実績	R3 実績	R4 目標値	
		市 : 不実施 全国 : 不実施	市 : 49.5 全国 : 54.5	全国平均以上	

重点事業 7

事業名	小・中学校英語教育充実事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R2 決算	R3 予算	R4 予算
			12,512 千円	13,311 千円	13,653 千円
事業目的	生徒の英語運用能力の向上を図るため、4技能（読む、聞く、書く、話す）を測定するスコア型検定を実施し、その結果を授業改善に活かすための取組を行う。				
事業内容	<p>① 中学校2年生を対象に、4技能（読む、聞く、書く、話す）を測る調査（GTEC 検定）を実施する。また、この調査結果を授業改善に活かすための英語授業改善プロジェクトにおいて、生徒の英語力向上に向けた取組を提案する。</p> <p>② 英語授業改善プロジェクトにより、外国語教育における小学校と中学校の連携を図り、学校種間のスムーズな接続を図る。</p>				
	<pre> graph TD A[小中学校英語教育充実事業] --> B[小学校] A --> C[中学校] B --> D[久留米市における外国語〔英語〕教育の充実と発展] C --> E[英語授業改善プロジェクトによる授業改善の取組及び英語学習への目標設定や学習モデル等の提供] D --> F[グローバル化が進む国際社会の中で生き抜くために必要な資質・能力の育成] E --> F </pre>				
事業目標 成果指標	「CEFR A1」相当以上の英語力を有すると思われる生徒の割合が全国平均以上	R2 実績	R3 実績	R4 目標値	
		市 50.4% 全国 不実施	市 47.2% 全国 47.0%	全国以上	



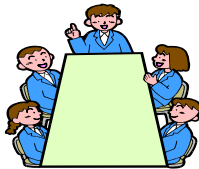
重点事業 8

事業名	教育 ICT 活用事業			担当課	教育 ICT 推進課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	拡充	事業費	R2 決算	R3 予算	R4 予算
			2,050,376 千円	419,220 千円 (繰越含む)	307,528 千円
事業目的	<p>国の G I G A スクール構想に基づき、各学校に整備したコンピュータ端末と校内情報通信ネットワーク等の ICT 環境の効果的な活用を推進し、誰一人取り残さない個別最適な学び・協働的な学びの実現をめざすことによって、教育の質の向上を図り、児童生徒の資質・能力の育成に努める。</p>				
事業内容	<p>1 ICT 環境の運用保守及び拡充</p> <p>(1) 専門業者等による ICT 環境の運用・保守</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ヘルプデスクの設置、情報通信ネットワーク及び端末等の運用・保守 ○1人1アカウントの管理・運用 <p>(2) 情報通信ネットワーク・端末の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ○増加普通教室及び特別教室の Wi-Fi 環境の拡充、光回線の強化 ○高校1人1台端末等の実現に向けた端末及び充電保管庫の整備 <ul style="list-style-type: none"> *令和4年度末で端末 29,732 台(児童生徒用・教員用・予備機等)整備完了見込み ○充電用アダプタ・授業支援ソフト・学習ドリルソフトの整備 ○デジタル教科書の試行的な導入 ○印刷環境の充実 <p>2 学校支援・活用促進</p> <p>(1) ICT 活用に係る校内推進体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校内情報管理者、ICT 活用コーディネーター、ICT 推進リーダーの配置 ○ICT 推進リーダー連絡協議会の設置や各担当者への研修の実施 ○ICT 活用コーディネーター後補充及びスクールサポートスタッフの配置 ○GIGA スクールサポーター(ICT 支援員)による巡回支援等の実施 <p>(2) くるめ GIGA スクール推進協議会の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ICT モデル校事業(先進的な実践事例の構築・発信、共通教材作成等) ○Google 社と連携した職員研修、資格取得促進 ○デジタル教材など教育 ICT 環境に係る検討・情報共有 <p>(3) Google for Education パートナー自治体プログラムへの参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ICT 活用事例校による先進的な授業実践 ○デジタルスキルトレーニング、人材交流、情報リテラシー教育の実施等 <p>(4) 家庭の理解促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○PTA 連絡協議会等と連携した様々な機会・媒体を活用しての情報発信 ○モバイル Wi-Fi ルーターの無償貸出 				
事業目標 成果指標	授業に ICT を活用して指導することが「できる」「ややできる」と回答する教員の割合を 80%以上にする。		R2 実績	R3 実績	R4 目標値
			54.4%	65.4%	75.0%

重点事業 9

事業名	小学校不登校対応総合推進事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R2 決算	R3 予算	R4 予算
			16,187 千円	14,098 千円	16,374 千円
事業目的	<p>小学校において、不登校及び不登校傾向、生徒指導上の課題のある児童に対する早期からの支援を充実させることで、不登校や不登校傾向の解消、問題行動の解決を図る。</p>				
事業内容	<p>① 不登校及び不登校傾向児童の解消を図るため、小学校に生徒指導サポーターを配置する。</p> <p>② 生徒指導サポーターの主な役割は以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 不登校及び不登校傾向のある児童の保護者への家庭訪問や支援 学級担任と生徒指導担当との連携による児童への支援 民生委員・児童委員、関係機関等との連携を図ったうえでの保護者や児童への支援 <p>③ 生徒指導サポーター研修会の実施</p> <p>児童の実態や生徒指導サポーターの役割についての講話、各学校の取組の交流などを行い、支援の充実を図る。</p>				
事業目標 成果指標	不登校児童の割合が 全国平均以下		R2 実績 市 0.7 全国 1.0	R3 実績 市 未公表 全国 未公表	R4 目標値 全国平均 以下

重点事業 10

事業名	中学校不登校対応総合推進事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R2 決算	R3 予算	R4 予算
			28,731 千円	30,912 千円	30,903 千円
事業目的	中学校の不登校及び不登校傾向の生徒に校内の居場所をつくり、生徒指導、進路指導及び学習支援を行うことで、段階的に教室復帰ができるように支援する。				
事業内容	<p>① 全ての中学校に、不登校及び不登校傾向の生徒に校内の居場所をつくるため、校内適応指導教室を設置し、校内適応指導教室助手を配置する。</p> <p>② 適応指導教室では、学習支援を行い生徒の進路獲得をめざすとともに、相談活動を通して生徒のストレスの軽減や不登校の原因を探り、学級復帰への適切な支援を行う。また、生徒・保護者と学校との連携体制づくりの支援にあたる。</p> <p>③ 校内適応指導教室助手を対象とした研修会を行い、実態把握や各学校の取組の交流を通して効果的な適応指導教室の運営を図る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; background-color: #c8e6c9; padding: 5px; width: 150px; margin: 0 auto;">校内適応指導教室</div> <p>不登校生徒に校内での居場所をつくり、学級復帰への支援を行う。</p>  <p>学校復帰 ↑</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; background-color: #c8e6c9; padding: 5px; width: 150px; margin: 0 auto;">校内適応指導教室助手</div> <p>学習支援や教育相談活動ができる者として、校長の推薦により教育委員会が認める者</p> <p>↓ 学級復帰</p>  </div> </div>				
事業目標 成果指標	不登校生徒の割合が全国平均以下	R2 実績	R3 実績	R4 目標値	
		市 3.05 全国 40.9	市 未発表 全国 未発表	全国平均以下	

重点事業 1 1

事業名	不登校児童生徒対策事業			担当課	青少年育成課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R2 予算	R3 予算	R4 予算
			8,404 千円	8,523 千円	8,160 千円
事業目的	<p>学校に行きたくても行けない児童生徒に対し、適応指導教室「らるご久留米」での様々な体験活動や学習指導、臨床心理士によるカウンセリングを通して、心の安定と心のエネルギーの回復、さらには自信の回復に努めながら社会的自立等へ向けた支援を行う。</p>				
事業内容	<p>○ 成果指標は、R1：53.5%、R2：54.5%、R3：56.7%となっている。 そこで、次年度の成果指標を70%以上とするために、教育相談等により丁寧に行うとともに、学級担任やSSW等と連携し、通級生へのアセスメントを丁寧に行う。</p> <p>○ コロナ禍で、体験活動も制限を受けていたが、今後は対策を講じながら体験活動の充実を図っていく。成功体験を通し、通級意欲や学校登校意欲へつなげられるようにする。</p>				
	<p style="text-align: center;">社会的自立への支援</p>				
事業目標	通級率50%を超える通級生の割合	R2 実績	R3 実績	R4 目標値	
成果指標		54.5%	56.7%	70%以上	


重点事業 1 2

事業名	生徒指導充実事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R2 決算	R3 予算	R4 予算
			10,463 千円	22,476 千円	20,667 千円
事業目的	<p>中学校で生徒指導に対応する教員が生徒指導の諸問題への早期対応と解決を図っていくことのできる環境を整備する。また、生徒指導連絡協議会への活動助成を行う。</p>				
事業内容	<p>① 中学校で生徒指導に対応する教員が、以下に示すような生徒指導上の諸問題に対応できるように非常勤講師を配置する。</p> <p>ア いじめ、不登校の未然防止や早期発見・対応の取組、問題行動の未然防止の取組と問題解消に向けた生徒への対応</p> <p>イ 保護者に対する支援・相談</p> <p>ウ 学校内におけるチーム指導体制の構築・支援</p> <p>エ 関係機関等との密接かつ良好な関係づくり</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>② 生徒の健全育成及び問題行動の防止を図ることを目的に活動する生徒指導連絡協議会に対し、活動助成を行う。</p>				
事業目標 成果指標	生徒 1,000 人当たりの いじめの認知件数が 全国平均以上	R2 実績	R3 実績	R4 目標値	
		市 25.6 件 全国 24.9 件	市 未発表 全国 未発表	全国平均以上	

重点事業 13-1

事業名	スクールカウンセラー活用事業 (小・特別支援学校・高校)			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R2 決算	R3 予算	R4 予算
			4,536 千円	2,888 千円	7,156 千円
事業目的	学校の教育相談機能を高め、いじめ・不登校等の生徒指導上の諸問題の解決や発達障害等の教育上特別の支援を必要とする児童生徒の学校生活へのよりよい適応を促すための支援、また、保護者の不安の解消、医療機関との連携の充実を図る。				
事業内容	<p>① スクールカウンセラーを市立の全小学校、特別支援学校、高校に配置し、児童生徒、保護者及び教職員等へのカウンセリング等を行う。</p> <p>② スクールカウンセラーの要請に基づき、小児リエゾンドクターが児童、保護者及び教職員へのカウンセリングを行う。</p> <p>③ コロナ対応としては、委託契約SCを増員し、市が任用するSCが緊急時に対応できる体制を構築。</p> <div style="text-align: center;"> </div>				
事業目標 成果指標	全国学力・学習状況調査(設問がない場合は市学力・生活実態調査)で「学校に行くのが楽しい」の肯定的回答の割合が全国平均以上	R2 実績	R3 実績	R4 目標値	
		市 不実施 全国 不実施	市 80.0% 全国 83.4%	全国平均以上	

重点事業 13-2

事業名	スクールカウンセラー活用事業 (中学校)			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R2 決算 9,072 千円	R3 予算 10,584 千円	R4 予算 9,828 千円
事業目的	<p>学校の教育相談機能を高め、いじめ・不登校等の生徒指導上の諸問題の解決や発達障害等の教育上特別な支援を必要とする児童生徒の学校生活へのよりよい適応を促すための支援、また、保護者の不安の解消、医療機関との連携の充実を図る。</p>				
事業内容	<p>① スクールカウンセラーを市立の中学校に配置し、児童生徒、保護者及び教職員等へのカウンセリング等を行う。</p> <p>② スクールカウンセラーは、毎週1回来校し、生徒・保護者・教職員へのカウンセリングや教育相談及び生徒指導部会等の会議に参加する。</p> <p>③ 県からの配置時間(週8時間4校、週4時間13校)に、本事業による配置(週4時間13校)を合わせて、全中学校に週8時間の配置を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>市立中学校におけるスクールカウンセラーの配置状況 (一週当たり8時間×35週)</p> <p>① 市と県による配置校12校 1校当たり(市4H+県4H)×35週 江南中・榎原中・牟田山中・高牟礼中・明星中・青陵中 荒木中・宮ノ陣中・田主丸中・屏水中・北野中・三潁中</p> <p>② 県による配置校5校 1校当たり(県8H×35週) 城南中・良山中・諏訪中・城島中・筑邦西中</p> <p>③ 県によるスーパーバイザー配置校1校 県4H×3回×35週 諏訪中に配置</p> </div> 				
事業目標 成果指標	全国学力・学習状況調査(設問がない場合は市学力・生活実態調査)で「学校に行くのが楽しい」の肯定的回答の割合が全国平均以上	R2 実績 市 不実施 全国 不実施	R3 実績 市 78.4% 全国 81.1%	R4 目標値 全国平均以上	

重点事業 1 4

事業名	スクールソーシャルワーカー活用事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R2 決算	R3 予算	R4 予算
			—	—	—
事業目的	学校・家庭・関係機関の協働体制を築くための支援を行い、困りごとを抱えた児童生徒がおかれた環境へ働きかけ、課題解決への対応を図る。				
事業内容	<p>① 社会福祉士や精神保健福祉士の資格を有し、福祉サービスについての専門的知識を有するスクールソーシャルワーカーを配置する。</p> <p>② スクールソーシャルワーカーの活用によって学校・家庭・関係機関が協働して子どもたちの抱える状況の改善を図る。</p> <p>ア 困難を有する児童生徒について、福祉的な視点からの情報収集 イ 課題の分析（アセスメント） ウ 学校との協働による支援計画の作成 エ ケース会議開催のための個別的な支援方針や支援内容に係る調整 オ 学校、家庭、関係機関等による連携ネットワークの構築および連携のための連絡調整</p> <p>③ 令和3年10月より、SSWの効果的な配置を図るモデル事業として1校区（牟田山中）拠点巡回型での配置を開始している。</p> <p>スクールソーシャルワーカーの役割</p>				
事業目標 成果指標	① 支援件数：前年度以上		R2 実績	R3 実績	R4 目標値
	② 関係機関とのケース会議：前年度以上		① 167 件 ② 342 件	① 201 件 ② 290 件	前年度以上

重点事業 15

事業名	学校施設の整備充実事業			担当課	学校施設課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R2 決算	R3 予算	R4 予算
			小 2,087,794 千円 中 131 千円	小 500,117 千円 中 5,106 千円 (繰越含む)	小 2,546 千円 中 175,775 千円
事業目的	児童生徒の安全を確保し、快適な学習環境づくりに向けて、増改築事業等の整備により学校施設の整備充実を図る。				
事業内容	<p>① 校舎等改築事業</p> <p>学校施設の老朽化と学校を取り巻く社会情勢の変化に対応するために、計画的・効率的に改築工事を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 諏訪中学校校舎改築事業（基本・実施設計等） <p>令和3年度の整備実績</p>  <p>京町小</p>				
事業目標 成果指標	各々の事業進捗率の目標値達成	R2 実績	R3 実績	R4 目標値	
		◆改築事業 篠山（グラウンド設計・ブロック塀改修） 進捗：100% 京町（校舎改築工事） 進捗：100% ◆増築事業 南（増築工事・既存校舎改修工事） 進捗：100% 山川（増築工事） 進捗：100% （外構工事） 進捗：40% 三瀬（増築工事） 進捗：100% 西国分（実施設計） 進捗：100% （増築工事） 進捗：100%	◆改築事業 篠山（防球フェンス工事等） 進捗：100% 京町（旧校舎解体・防球フェンス工事等） 進捗：100% ◆増築事業 山川（外構工事） 進捗：100%	◆改築事業 諏訪（基本・実施設計等） 進捗：30%	

重点事業 16

事業名	学校施設の長寿命化事業			担当課	学校施設課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R2 決算	R3 予算	R4 予算
			小 255,781 千円 中 41,933 千円 高 7,276 千円	小 320,699 千円 中 129,689 千円 特 37,598 千円 高 16,625 千円 (繰越含む)	小 502,327 千円 中 257,625 千円 特 79,299 千円 高 7,852 千円 (繰越含む)
事業目的	学校施設における建替コストの縮減、改修時期の調整による財政の平準化、環境負荷の低減などを図るため、外壁・防水改修工事等の施設の長寿命化を図る。				
事業内容	<p>令和4年度 学校施設の主な整備内容 ※は設計を含む</p> <ul style="list-style-type: none"> 校舎外壁改修工事2校（東国分小、西牟田小、田主丸中） 屋体外壁改修【設計業務委託2校（長門石小、諏訪中）】 校舎内装材改修【設計業務委託2校（御井小、山本小）】 校舎防水改修工事7校（※金丸小、※南小、※草野小、※大橋小、※大城小、※田主丸中、※久商） 校舎便所改修工事5校（山川小、上津小、犬塚小、荒木中、田主丸中） 【設計業務委託2校（西国分小、三潞中）】 LED改修工事5校（山本小、大橋小、大城小、宮ノ陣中、特別支援学校） 【設計業務委託6校（荘島小、金丸小、善導寺小、三潞小、諏訪中、明星中）】 グラウンド改修工事2校（篠山小、京町小） 【擁壁変状調査業務委託：江南中】 <p>令和3年度の主な学校施設の整備実績</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>外壁改修</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>便所改修</p> </div> </div>				
事業目標 成果指標	外壁改修率及びトイレ改修率の上昇	R2 実績	R3 実績	R4 目標値	
		外壁改修率 (モルタル落下対策) 91.5% トイレ改修率 (校舎ドライ化) 79.4%	外壁改修率 (モルタル落下対策) 92.9% トイレ改修率 (校舎ドライ化) 82.1%	外壁改修率 (モルタル落下対策) 93.2%予定 トイレ改修率 (校舎ドライ化) 85.1%予定	

重点事業 17

事業名	教職員研修事業			担当課	教育センター
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R2 決算	R3 予算	R4 予算
			9,614 千円	12,560 千円	14,421 千円
事業目的	教育の専門家として、自ら学び続ける教職員を育成するために、育成指標に基づくキャリアステージに応じた研修や本市の教育課題に対応した研修を計画的に実施し、教職員の実践的指導力の向上を図る。				
事業内容	<p>(1) 基本研修</p> <p>経験年数や職務に応じた資質能力の向上を図る研修（受講対象者を特定した悉皆研修）</p> <p>① 経年研修（15講座）</p> <p>教育公務員特例法に基づく、初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修のほか、経験年数に応じて教職員に必要な知識や技能（実践的指導力）、態度を養うための研修を行う。</p> <p>〈改善点・工夫点〉講義では、国や県の教育の動向に触れるとともに、受講者がより主体的に研修に参加できるように、演習や協議等、内容を吟味し、適宜取り入れる。</p> <p>② 職務研修（8講座）</p> <p>新たに任命された校長、副校長、教頭、主幹教諭等の研修及び新たに発令された主任主事の職務に関する専門的な研修を行い、学校経営能力や当該職務の遂行能力向上を目指す。</p> <p>〈改善点・工夫点〉職務の内容や役割を講義等でさらに明確に示すために、関係各課との連携を密に行う。</p> <p>(2) 課題研修（19講座）</p> <p>教育課題に基づき、各分掌業務を担当する教職員を対象として、職能に応じた専門的な知識・技能の習得と実践的指導力の向上を図る研修</p> <p>〈改善点・工夫点〉社会情勢、教育を取り巻く情勢、市の教育課題を考慮し、内容の精選・重点化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校長、副校長、教頭を対象とした管理職研修 ・ 学力向上、いじめ・不登校への対応、安全安心な学校生活の確保など、様々な教育課題の解決を目指した研修 <p>(3) 専門研修</p> <p>① 短期研修（16講座）</p> <p>教科等の学習指導や生徒指導、人権・同和教育、学校運営等、教職員のキャリアステージに応じて専門性を高める研修（希望受講）</p> <p>② 断続研修（研修員12名以内）</p> <p>「学びをつなぐ授業」の充実に向けた教育力の育成を目指し、1年間を通じて断続的に授業力を高める研修を行い、各教科・領域における専門的な知識と指導力を持った学び続ける人材を育成する研修</p>				
事業目標 成果指標	研修アンケートで「役にたった」 （大変満足・満足）と回答した者の割合 95%以上		R2 実績	R3 実績	R4 目標値
			99.4%	98.6%	95.0%以上

重点事業 18

事業名	学校における働き方改革推進事業			担当課	教職員課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R2 決算 0 千円 感染症対策関連予算へ	R3 予算 3,768 千円	R4 予算 10,184 千円
事業目的	<p>学校における働き方改革に関する総合的な方策に関する答申（中央教育審議会）等を受け、勤務時間を意識した働き方改革を進め、教職員の業務改善の取組を推進し、勤務環境の整備のための支援を充実させ、教職員の多忙化解消を図る。ひいては、教員の専門性を高め、より分かりやすい授業を展開するなど教育活動の充実により、より短い勤務で高い成果を維持・向上させることを目的とする。</p>				
事業内容	<p>① 正確な勤務実態の把握 IC タイムレコーダーの全校設置により、勤務実態の客観的把握を行う。</p> <p>② 勤務時間外の自動応答メッセージによる電話対応 令和 2 年度から全校設置。時間外は業務に集中することが可能となった。</p> <p>③ 学校閉庁日 夏季休業期間のお盆前後の 5 日間を学校閉庁日とする。</p> <p>④ 教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ） 令和 4 年度は 15 学級以上の学校（23 校）を対象に、教材準備や消毒作業のサポートを行うスタッフを配置する。</p> <p>⑤ 時間外在校等時間の上限規制（令和 3 年度から） 時間外在校等時間の上限を超えないよう業務量の管理を行うために、久留米市立小中学校等管理規則の一部改正を行った。</p> <p>参考値 月 80 時間以上の超過勤務を行っている本市の教員の割合 ※令和元年度(5 月から 3 月まで)の平均・・・小学校 9.9% 中学校 19.6% ※令和 2 年度(4 月から 3 月まで)の平均・・・小学校 5.4% 中学校 12.9% ※令和 3 年度(4 月から 3 月まで)の平均・・・小学校 5.3% 中学校 11.4% <参考>平成 29 年度文部科学省による調査・・・小学校 33.5% 中学校 57.6%</p> <pre> graph TD A[久留米市立学校における働き方改革の推進] --> B[小学校長会] A --> C[久留米市立学校における働き方改革推進本部] A --> D[中学校長会] B --> E[勤務実態の正確な把握と長時間勤務是正に向けた数値目標の設定] C --> E D --> E E --> F[久留米市立学校における働き方改革プラン] F --> G[予算が前提となる取組] F --> H[必ずしも予算が前提とはならない取組] G --> I[具体的な検討] H --> J[具体的な推進] I --> K[部会等：チームリーダー会議、校長・教頭・学校事務職員との合同部会] J --> K </pre>				
事業目標 成果指標	<p>ストレスチェック実施率を向上させ、ストレス要因として事務的な業務量をあげる職員を 10%以下にする。</p>	R2 実績	R3 実績	R4 目標値	
		<p>実施率：94.6%</p> <p>事務的業務量：13.2%</p>	<p>実施率：97.0%</p> <p>事務的業務量：15.0%</p>	<p>実施率：100.0%</p> <p>事務的業務量：10.0%</p>	

重点事業 19

事業名	学校 ICT 環境整備事業			担当課	教育 ICT 推進課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R2 決算	R3 予算	R4 予算
			138,685 千円	138,886 千円	141,200 千円
事業目的	<p>ファイル共有サーバの設置や学校サーバの一元化による学校イントラネット環境を構築することにより、学校が取り扱うデータの保護やセキュリティを強化するとともに、優れたデジタルコンテンツ等、学校間の情報の共有化を促進する。また、統合型校務支援システムを導入することにより、校務の効率化に資する。</p>				
事業内容	<p>1 学校イントラネットの運用・維持管理 市立小・中・特別支援学校及び教育部の範囲で安全にデータ通信を行える学校イントラネット環境の安定的な運用を行い、活用を促進する。 (1) 学校における学習指導や家庭学習に役立つ教材等の共有 ①学習指導案や ICT 教材等を保存し、学習指導に役立てる。 特に、保存しているコンテンツについて積極的に広報し、その活用を図るよう留意する。 ②補充教材を保存し、補充学習や家庭学習に役立てる。 (2) 教職員研修教材の発信 教育センターにおける調査研究の成果物や研修教材、外部講師の講話資料等を保存し、校内研修での活用を促進する。特に、調査研究の成果物については、集合研修の講義の際に活用するよう留意する。</p> <p>2 校務支援等システムの運用・保守 児童生徒一人一人の情報(成績処理・日常所見等の教務関連事務、転出入・出欠管理等の学籍関連事務、指導要録、健康観察等の保健関係事務)をデータベース化し、学習指導や生徒指導に活用することにより、校務の効率化を図る。</p> <p>3 学校サーバー一元化の運用・保守 データの保護、セキュリティの強化のために一元化した学校サーバの安定的な運用・保守を行う。</p>				
事業目標 成果指標	①学校イントラネット 共有化指導案総数 410 件以上 ②校務支援等システム 支援件数 1 日平均 24 件以下	R2 実績	R3 実績	R4 目標値	
		①指導案数 年 30 件 総数 339 件 ②29.24 件	①指導案数 年 9 件 総数 348 件 ②28.5 件	①指導案数 年 12 件 総数 360 件 ②24 件以下	

重点事業 20

事業名	小・中学校コミュニティ・スクール (久留米版) 推進事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R2 予算 26,835 千円	R3 予算 26,785 千円	R4 予算 24,369 千円
事業目的	学校・家庭・地域が協働して行う様々な体験活動や教育活動を充実するための支援を行うことで、地域の教育力を学校運営に取り入れ、地域とともにある学校づくりを推進する。				
事業内容	<p>① 社会に開かれた教育課程の実現のため、地域人材の活用や地域での体験活動の充実を図り、学校規模に応じた補助金の交付を行う。</p> <p>② 各学校の教育課題に対し、家庭・地域と協働して解決に取り組めるよう地域学校協議会から学校・家庭・地域それぞれに提言を行い、それを実働化させるための地域学校協議会プランの計画内容に応じた補助金の交付を行う。</p> <p>③ コミュニティ・スクールモデル校には、学校運営協議会制度の検証及び地域学校協働活動に対する経費の補助金を交付する。また、学校と地域をつなぐ地域学校協働活動推進員の配置や学校運営協議会委員の委嘱、コミュニティ・スクール先進校への視察等を行うことができるよう助成する。</p> <div style="text-align: center;"> <p>学校が抱える教育課題</p> <p>The diagram illustrates the process of addressing school issues. It starts with 'School Issues' at the top. Below it, two boxes represent 'Regional School Association' (topic sharing, proposals to school/family/community) and 'School Management Association' (shared goals/vision, proposals for collaborative activities). These lead to the 'Community School Promotion Committee', which focuses on confirming roles and specific implementation for schools, families, and the community. This committee then oversees three areas: 1) Utilization of grant funds for school-scale activities to create unique schools. 2) Utilization of grant funds for collaborative problem-solving activities. 3) Compensation for regional school collaborative activity promotion staff. This leads to 'Motivation' (働きかけ) between 'Community', 'School', and 'Family' through 'Collaboration' (協働). Each entity then performs 'Actual Work' (実働), leading to the 'Resolution of School Issues'.</p> </div>				
事業目標	各学校の地域学校協議会提言			R2 実績	R3 実績
成果指標	の達成率が前年度以上			70.3%	69.3%
				R4 目標値	R4 目標値
					前年度実績以上

重点事業 2 1

事業名	人権教育・啓発推進事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R2 決算	R3 予算	R4 予算
			1,393 千円	7,060 千円	6,600 千円
事業目的	<p>自他の人権を守り、差別をなくす意志と実践力を身に付け、豊かな人権感覚をもった市民・児童生徒の育成を図るために、学園コミュニティ（保育園、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、高等学校他）及び地域コミュニティ（家庭、小学校区人権啓発推進協議会、企業他）が連携・協働し、地域の実態や課題に応じた人権教育・啓発活動を推進する。</p>				
事業内容	<p>① 児童生徒一人ひとりの進路・学力の保障、人権尊重の理念の理解・体得を図るために、学園コミュニティでの取組（校種間の連携の中で、連絡会・授業公開・実践レポート交流会・人権カリキュラムの検討・研修会等の開催）への支援を行う。</p> <p>② 地域コミュニティが行う（家庭、地域住民、企業等が参加する人権講座等の開催）への支援を行う。</p> <p>③ 同和問題、女性、障害者、外国人等の人権課題を解消し、多様性を尊重する主体者を育成するために、学園コミュニティと地域コミュニティとが協働して行う取組（人権フェスタ、人権講座、人権フィールドワーク等）への支援を行う。</p> <div style="text-align: center;"> </div>				
事業目標 成果指標	各中学校区人権のまちづくり推進協議会の活動の活性化を図り、「人権意識を高めたい」市民の割合 56%以上	R2 実績	R3 実績	R4 目標値	
		感染症対策により未実施	58.2% 【参考】 市民意識調査	60%以上 【参考】 市民意識調査	

重点事業 2 2

事業名	食育プログラム研究推進事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R2 決算	R3 予算	R4 予算
			208 千円	871 千円	401 千円
事業目的	子どもたちに食に関する正しい知識と望ましい食習慣、基本的な生活習慣を育成する。				
事業内容	<p>久留米市栄養教諭・学校栄養職員等の取組を生かし、充実発展させるため、以下の取組を行い、食育プログラムの研究を推進させる。</p> <p>(1) 食に関する指導の充実</p> <p>① 食に関する指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育推進体制づくり ・教科等と給食を関連付け、家庭との連携を組み入れた指導計画の工夫 ・「久留米市食育教材」を活用した学級活動の授業づくり ・「食育だより」を通じた家庭との連携 ・「朝ごはんの日」の給食を生きた教材として活用した食に関する指導と家庭への啓発 ・子どもの食に関する実態の調査、分析 <p>② 食に関わる掲示物の作成・掲示</p> <p>③ 食育プログラムの作成</p> <p>④ 栄養教諭等未配置中学校への出前授業</p> <p>(2) 学校給食の充実</p> <p>① 衛生管理実地研修会の実施</p> <p>② 久留米市学校給食管理マニュアルの作成・活用</p> <p>③ 献立年間計画の作成</p> <p>(3) 学校・家庭・地域との連携</p> <p>① 教職員向けリーフレットの発行</p> <p>② 食育推進支援事業</p> <p>③ 親子料理教室の開催</p> <p>④ 食育啓発パネルの展示</p>				
事業目標 成果指標	朝食を食べない児童生徒の割合（朝食欠食率）が前年度以下	R2 実績	R3 実績	R4 目標値	
		小学校 2.2% 中学校 3.0%	小学校 2.1% 中学校 2.5%	前年度実績以下	

重点事業 2 3

事業名	医療的ケア対応事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	拡充	事業費	R2 決算 27,688 千円	R3 予算 39,892 千円	R4 予算 51,709 千円
事業目的	医療的ケアを必要とする児童生徒に対応するため、小学校、中学校及び久留米特別支援学校に看護師を配置し、医療機関と連携した吸引・経管栄養・導尿等を実施することによって、子どもの状況に的確に対応できる安全な教育環境の整備を図る。				
事業内容	<p>① 久留米特別支援学校に在籍し、医療的ケア（吸引・経管栄養・導尿等）を必要とする児童生徒を対象とする。（令和4年度16人）</p> <p>② 小中学校に在籍し、常時の医療的ケア（吸引・人工呼吸器の管理）を必要とする児童生徒を対象とする。（令和4年度：小1人、中1人）</p> <p>③ 業務委託によって事業所から看護師を派遣する。</p>				
事業目標 成果指標	医療的ケアを必要とする児童生徒のニーズに対応できる看護師を配置する	R2 実績 必要数 1 2 人 配置数 1 2 人	R3 実績 必要数 1 4 人 配置数 1 4 人	R4 目標値 必要数 1 8 人 配置数 1 8 人	

重点事業 2 4

事業名	中学校美術教育振興事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R2 決算 0 千円	R3 予算 2,127 千円	R4 予算 2,768 千円
事業目的	中学生の美術に関する興味・関心を高め、豊かな心と郷土を愛する心を育む。				
事業内容	<p>① 久留米市美術館における企画展・常設展の鑑賞のために、各中学校第1学年の生徒に対して、バスの借り上げを行う。</p> <p>② 事業実施後に、生徒アンケートや感想等を学校だより等で紹介し、効果の波及に努める。</p> <div data-bbox="443 819 1294 1727" style="text-align: center;"> <p>中学校美術教育振興事業</p> <p>各中学校 → 鑑賞期日の希望 → 久留米市教育委員会 → 調整 → 久留米市美術館等の文化施設</p> <p>久留米市美術館等の文化施設 → 決定通知 → 各中学校</p> <p>各中学校 ↔ 連絡・調整 ↔ 久留米市教育委員会</p> <p>久留米市教育委員会 → 入札・手配 → 各中学校</p> <p>各中学校 → 配車 → 各中学校</p> <p>各中学校 → 打合せ (鑑賞の1か月前まで) → 久留米市美術館等の文化施設</p> <p>各中学校 → 鑑賞 (会期中) → 久留米市美術館等の文化施設</p> <p>久留米市美術館等の文化施設 → 美術に対する関心、郷土を愛する心</p> </div>				
事業目標 成果指標	市学力・生活実態調査(中2)において「自分が住んでいる地域が好きである」の肯定的回答の割合の増加	R2 実績 不実施	R3 実績 85.3%	R4 目標値 回答の割合が増加する	

重点事業 25

事業名	学校規模対策事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R2 決算	R3 予算	R4 予算
			52,583 千円	22,559 千円	1,062 千円
事業目的	<p>市立小中学校では、学校規模に偏りが生じ、児童生徒の教育活動や学校生活上の影響が懸念されることから、小規模化や大規模化が進む学校における学校規模の適正化に向けた対策を進める。</p> <p>また、久留米市立小学校小規模化対応方針（平成30年10月策定）を改定し、これまでの小学校の小規模化の観点だけでなく、学校施設の老朽化の状況も踏まえた対応の考え方について整理し、引き続き、学校統合の取組を進めることで、より良い教育条件・教育環境の整備を図る。</p>				
事業内容	<p>① 「久留米市立小学校小規模化対応方針」の改定を行う。</p> <p><改定の内容></p> <p>これまでの小学校の小規模化の観点だけではなく、学校施設の老朽化の状況も踏まえ、将来的な児童数・学級数の動向などを見極めながら、今後の小学校統合の取組における優先順位の考え方などを整理する。</p> <p>② 「第2次久留米市立小学校統合基本計画」の策定に向けた調査・検討を進める。</p> <p>③ 下田・浮島・城島小学校統合の検証を継続し、新たな課題等の把握や城島小学校と連携した対応を図る。</p> <p>・城島小学校統合検証委員会の開催（学期に1回）</p>				
事業目標 成果指標	小規模化や大規模化が進む学校における学校規模の適正化に向けた対策を進める	R2 実績	R3 実績	R4 目標値	
		<p>○第1次久留米市立小学校統合基本計画決定</p> <p>○下田・浮島・城島小学校統合</p>	<p>今後の小学校統合の対応検討</p> <p>○下田・浮島・城島小学校統合後の検証</p> <p>○小学校小規模特認校制度の廃止</p>	<p>○久留米市立小学校小規模化対応方針の改定</p> <p>○第2次久留米市立小学校統合基本計画の策定に向けた調査、検討</p>	

重点事業 26

事業名	地域生涯学習振興事業（委嘱学級）			担当課	生涯学習推進課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R2 決算	R3 予算	R4 予算
			5,684 千円	7,600 千円	7,505 千円
事業目的	<p>市民が暮らす一番身近な地域である校区を単位として、教養の向上、健康福祉の増進、人権・同和問題や男女共同参画、環境、防災等の市民ニーズや地域課題に応じた生涯学習活動を推進し、事業を通じた地域コミュニティづくりを図るため、校区コミュニティ組織に対して、委嘱学級の運営に係る財政支援や指導者養成などの支援を行う。</p>				
事業内容	<div style="text-align: center;"> <pre> graph TD A[市] -- "運営支援・開設支援 1学級あたり 95,000円補助" --> B[校区コミュニティ組織] B --> C[委嘱学級] </pre> </div> <p>広く市民に開かれた委嘱学級を実現するために要件を定めている。</p> <p>【学級】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆学習時間 年間 12 回以上計画（1 回 2 時間程度） ◆学級編成 1 学級 15 人以上（新入生加入に努める） <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者学級 ・女性学級 ・まちづくり学級 ・家庭教育学級 など <p>【学習単元】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権・同和問題（必修） ・男女平等に関する問題（必修） ・健康課題 ・ボランティア ・地域課題 ・ICT に関する内容 ・福祉課題 ・環境課題 ・防災 など <p>学習実績をまとめた冊子を作成して各学級に配布することや、学級の優秀事例発表や学級運営の課題と工夫を情報交換する場を設けた委嘱学級交流会を開催することで、学級運営の参考にしていただき、充実した講座内容となるよう支援していく。</p>				
事業目標 成果指標	校区委嘱学級の充実	R2 実績	R3 実績	R4 目標値	
		<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱学級数 78 学級 ・委嘱学級交流会 0 回 	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱学級数 80 学級 ・委嘱学級交流会 0 回 	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱学級数 80 学級 ・委嘱学級交流会 1 回 	

重点事業 27

事業名	体験活動推進事業（少年の翼事業）			担当課	生涯学習推進課									
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・ 継続)	継続	事業費	R2 決算	R3 予算	R4 予算									
			0千円	2,900千円 補正後0千円	2,900千円									
事業目的	次代を担う子どもが集い、本研修を中心に数回の研修を通じて友情を深めながら、団体生活の楽しさを学び、団体や地域の活動に積極的に参加する子どもを育成することを目的とする。また、青年ボランティアの発掘及び機会提供を行い、次世代リーダー育成を促進する。													
事業内容	<table border="1"> <tr> <th>①指導員募集</th> <th>②研修生(子ども)募集</th> <th>③指導員研修</th> </tr> <tr> <td>3月中旬～ 4月下旬</td> <td>4月中旬～ 5月上旬</td> <td>5月下旬～ 6月下旬</td> </tr> <tr> <td>対象：18歳～ 39歳 (高校生除く) 人数：20名程度</td> <td>対象：小学5年生～ 中学生 人数：40名程度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 指導員同士の人間関係づくり ● 安全管理に対する意識づくり ● レクリエーション研修 ● 普通救命講習 </td> </tr> </table>					①指導員募集	②研修生(子ども)募集	③指導員研修	3月中旬～ 4月下旬	4月中旬～ 5月上旬	5月下旬～ 6月下旬	対象：18歳～ 39歳 (高校生除く) 人数：20名程度	対象：小学5年生～ 中学生 人数：40名程度	<ul style="list-style-type: none"> ● 指導員同士の人間関係づくり ● 安全管理に対する意識づくり ● レクリエーション研修 ● 普通救命講習
	①指導員募集	②研修生(子ども)募集	③指導員研修											
	3月中旬～ 4月下旬	4月中旬～ 5月上旬	5月下旬～ 6月下旬											
	対象：18歳～ 39歳 (高校生除く) 人数：20名程度	対象：小学5年生～ 中学生 人数：40名程度	<ul style="list-style-type: none"> ● 指導員同士の人間関係づくり ● 安全管理に対する意識づくり ● レクリエーション研修 ● 普通救命講習 											
<table border="1"> <tr> <th>④事前研修</th> <th>⑤本研修</th> <th>⑥事後研修</th> </tr> <tr> <td>7、8月(3日) 市内</td> <td>8月(2泊3日) 鹿児島県内</td> <td>10月(1日) 市内</td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 協力し合える関係づくり ● 集団生活における規律の共有 ● 自然・平和学習 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 海での自然体験 ● 知覧特攻平和会館での平和学習 ● 土器の製作体験 </td> <td>● ふりかえり</td> </tr> </table>					④事前研修	⑤本研修	⑥事後研修	7、8月(3日) 市内	8月(2泊3日) 鹿児島県内	10月(1日) 市内	<ul style="list-style-type: none"> ● 協力し合える関係づくり ● 集団生活における規律の共有 ● 自然・平和学習 	<ul style="list-style-type: none"> ● 海での自然体験 ● 知覧特攻平和会館での平和学習 ● 土器の製作体験 	● ふりかえり	
④事前研修	⑤本研修	⑥事後研修												
7、8月(3日) 市内	8月(2泊3日) 鹿児島県内	10月(1日) 市内												
<ul style="list-style-type: none"> ● 協力し合える関係づくり ● 集団生活における規律の共有 ● 自然・平和学習 	<ul style="list-style-type: none"> ● 海での自然体験 ● 知覧特攻平和会館での平和学習 ● 土器の製作体験 	● ふりかえり												
<p>研修生(子ども)</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 学年や学校を超えた交流によるコミュニケーション能力 ★ 自ら考え行動する自立心 ★ 仲間を思いやれる優しさ ★ 新しいことに挑戦する意欲 ★ 地域・学校の活動に進んで参加する積極性 														
<p>指導員</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 体験活動事業の運営についてのノウハウの習得 ★ 指導者としてのスキルの習得 ★ 地域活動への貢献 ★ 幅広い交友関係の構築 														
<p>今後の改善・工夫点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修生の自立心、チャレンジ精神を育むための研修プログラムの構築支援。 ・ 研修生及び指導員が参加しやすい研修日程の検討。 ・ with コロナ時代に向けた事業の検討 														
事業目標 成果指標	・参加者の地域や学校等行事への参加意欲度 ・指導員の事業継続参加意欲度 ・次年度実施に向けた実行委員会の開催	R2 実績	R3 実績	R4 目標値										
		※新型コロナウイルス拡散防止の為中止	※新型コロナウイルス拡散防止の為中止	参加者95% 指導員75% 委員会 3回										

重点事業 28

事業名	歴史資料保存活用事業			担当課	文化財保護課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R2 予算	R3 予算	R4 予算
			10,477 千円	9,251 千円	7,717 千円
事業目的	歴史資料の保存と活用を進めることにより、市民がふるさとの歴史や風土など地域の歴史文化を学び、生涯を通じた学習の素材として活用し、郷土愛の醸成と、地域文化の未来への継承を図る。				
事業内容	<div style="text-align: center; border: 2px solid black; padding: 5px; background-color: #ffff00; margin-bottom: 10px;"> 歴史資料の保存と活用 </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>① 地域の歴史文化を学ぶための資料の調査・収集を行い、保存・修復及び、適正な収蔵・保管に努める</p> <p>② 収蔵資料を効果的に活用するため、展示・公開を図ることにより、郷土の歴史に関する市民の意識高揚を図り、地域文化の継承に役立てる</p> </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;"> </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e6e6fa; display: inline-block;"> 地域の歴史と文化の理解 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 30%; text-align: center;"> <p>学校と連携し、むかしの暮らしを学び、久留米の成り立ちや風土を考える機会となる企画展を実施する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 30%; text-align: center;"> <p>生涯学習の一環として、既存の展示スペースを使用した久留米の歴史を学ぶ企画展を実施する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 30%; text-align: center;"> <p>発掘調査や歴史資料の収集等による資料を整理・保存・管理・活用し、地域の文化を次世代につなぐ一助とする。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="background-color: #ffff00; display: inline-block; padding: 2px;">今後の改善項目</p> <p>学校現場や地域との連携を強化し、情報発信、資料の貸し出し等の利用を増やしていく。</p> </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;"> </div> <div style="text-align: center; border: 2px solid black; padding: 5px; background-color: #ffff00;"> 郷土愛の醸成と地域文化の未来への継承 </div>				
事業目標 成果指標	歴史資料の調査・保存・修復・収集・購入 歴史資料の活用 収蔵施設の整備 歴史資料のデータベース化	R2 実績	R3 実績	R4 目標値	
		企画展を2回実施する。	企画展を2回実施する。	企画展を2回実施する。 企画展の内容充実を図る。	

重点事業 29

事業名	筑後国府跡歴史公園整備事業			担当課	文化財保護課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R2 決算	R3 予算	R4 予算
			5,447 千円	11,459 千円	36,867 千円
事業目的	古代の役所跡である筑後国府跡を保存整備し、市民が身近な場所で歴史を感じるにより、地域や久留米市に対する愛着心を高めるとともに、歴史遺産としての価値と魅力を未来に向けて継承する。				
事業内容	<p>① 史跡の適正な管理を通じて保存を図る。維持的措置として草刈り・清掃・見回り等を実施し、また、災害等に際して復旧作業を行うなど保存的措置を講じる。</p> <p>② 令和元年度に策定した『保存活用計画』に則り、計画的な土地の公有化を推進するとともに、整備基本計画の検討を行い、早期の歴史公園化を目指す。</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph TD A[史跡の保存] --> B[史跡の活用] B --> C[史跡の保護] C --> D[国指定史跡 筑後国府跡の価値と魅力を未来へ伝える] </pre> <p>史跡の保存</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草刈り業務等による適正な管理 ・公有化の推進 ・保存活用計画の認定 <p>史跡の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等による情報発信 ・歴史公園整備基本計画の検討 ・基本計画策定委員会の検討 <p>史跡の保護</p> <p>歴史公園を整備することにより、憩いの場・地域活動の場・生涯学習の場・学校教育の場・歴史体験（探検）の場などを提供し、ライフステージのあらゆる場面での活用を図る。</p> <p>国指定史跡 筑後国府跡の価値と魅力を未来へ伝える</p> </div>				
事業目標 成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・Ⅱ期政庁地区内の公有化1件と用地交渉の継続 ・草刈り等管理業務の実施 ・文化財保護法に基づく保存活用計画の認定 	R2 実績	R3 実績	R4 目標値	
		<ul style="list-style-type: none"> ・物件等調査実施の承諾2件 ・管理業務の実施 ・保存活用計画認定協議 	<ul style="list-style-type: none"> ・物件等調査2件 ・管理業務の実施 ・保存活用計画認定協議 	<ul style="list-style-type: none"> ・用地の公有化1件 ・管理業務の実施 ・保存活用計画に基づく活用（地域ワークショップの開催2回） 	

重点事業 30

事業名	歴史ルートづくり事業			担当課	文化財保護課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R2 予算 18,130 千円	R3 予算 10,456 千円	R4 予算 3,715 千円
事業目的	久留米市内に数多く存在する歴史・文化遺産を整理・集積し、積極的な情報発信を行うことで、その魅力について市民への再発見を促すとともに、交流人口の増加を目指す。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和3年度に国の認定を受けた久留米市文化財保存活用地域計画に基づく「筑後川遺産」制度の運用を開始する。 ○ 歴史・文化遺産などのスポットについて、久留米ならではの魅力が際立つものを、時代・歴史的背景・伝承などの共通項目(=テーマ)で結びつけ、興味を引くようなストーリーとして組み立てる。 ○ それらのストーリーを構成する各スポットを紹介するイベント等を通じ、久留米の歴史の魅力を伝え集客につなげる。 ○ また、エリア内の歴史遺産の調査を推進し、基礎資料を作成するとともに歴史的背景の検証によるエリア固有のストーリーを創出する。 ○ 併せて、ストーリーの要所となるスポット拠点、及びスポット間の行程の整備を行い、安全安心なルートを確保する。 ○ 令和3年度に、久留米入城400年事業として実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により延期となった高良山シンポジウム等の事業に取り組む。 ○ 本市の文化財マスタープランとして計画的かつ持続的な歴史や文化のまちづくりの実現を目的とした「文化財保存活用地域計画」の推進を目指す。 				
事業目標 成果指標	令和7年度までに新規に情報発信した歴史スポット数 180箇所		R2 実績 ストーリーシート作成1件 情報発信した歴史スポット数40箇所	R3 実績 ストーリーシート作成1件 文化財保存活用地域計画の国認定 情報発信した歴史スポット数30箇所	R4 目標値 筑後川遺産制度開始 高良山シンポジウムの開催 情報発信した歴史スポット数30箇所

重点事業 3 1

事業名	久留米入城400年事業			担当課	文化財保護課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R2 決算	R3 予算	R4 予算
			—	14,326 千円	11,690 千円
事業目的	<p>令和3年度大名有馬家久留米入城400年という歴史的節目にあたり、「歴史のまち久留米」を広くPRし、市のブランド力向上に寄与する。</p> <p>また、市民と市が協働して魅力あるイベント等を実施し、交流人口の増加及び市の活性化を図る。</p>				
事業内容	<div style="text-align: center;"> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 令和3年度 大名有馬家久留米入城400年 ～記念すべきメモリアルイヤー事業の継続～ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【コロナにより延期となったイベント等の実施】</p> <p>8月：雅楽レクチャー 9月：久留米城下町めぐり・雅楽公演会 ○久留米城3D動画の制作（久留米工業大学・久留米高専との協働）</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【情報発信強化】</p> <p>○市公式LINE・HP・印刷物 ○新聞・ラジオ・TV ○各種フリーペーパー等 ○JR久留米駅デジタルサイネージ</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【民間等活用・市民との協働】</p> <p>○400年関連商品開発</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <div style="border: 2px solid red; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">文化財保護意識の醸成 「歴史のまち久留米」ブランディング強化 交流人口の増加</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 郷土愛の醸成と地域活性化 </div> </div>				
事業目標 成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・関連イベント等の円滑な推進 ・市公式LINE、HP、新聞、ラジオ、TV、各種フリーペーパー等による情報発信 	R1 実績	R2 実績	R3 目標値	
		—	<ul style="list-style-type: none"> ・関連イベント中止・延期 ・関連HPアクセス件数(年間)19,021件 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度延期となった関連イベントの円滑な実施 	

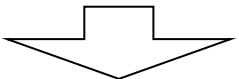
重点事業 3 2

事業名	MICE誘致推進事業			担当課	体育スポーツ課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R2 予算	R3 予算	R4 予算
			100,000 千円 補正後 6,629 千円	206,640 千円 補正後 78,996 千円	1,698 千円
事業目的	オリパラ事前キャンプのノウハウを活かし、久留米アリーナ等を活用した大規模スポーツ大会等の誘致を推進するとともに、事前キャンプのレガシーとしてケニア、カザフ両国とのホストタウンスポーツ交流を実施する。				
事業内容	<p>① 大規模スポーツ大会誘致</p> <p>引き続きスポーツ協会をはじめとした競技団体と連携して上部団体等への大規模スポーツ大会の誘致活動に取り組む。</p> <p>② トップレベルチーム合宿誘致</p> <p>平成 30 年度から久留米で合宿を行っている 7 人制ラグビー日本代表をはじめとするトップレベルチームの合宿を誘致する。</p> <p style="text-align: center;">7 人制ラグビー日本代表</p>  <p>③ ホストタウンスポーツ交流</p> <p>東京オリンピック・パラリンピックを契機にホストタウンとなったケニア共和国、カザフスタン共和国とのホストタウンとしてのスポーツ交流を深めるため、日本在住の両国のアスリートによるスポーツ教室を行う。</p> <p style="text-align: center;">ケニア共和国アスリートによる陸上教室</p>  <p>④ 全国高等学校総合体育大会</p> <p>令和 6 年度に開催される北部九州全国高等学校総合体育大会・ハンドボール競技の開催に向け、令和 4 年度四国大会の視察を行う。</p>				
事業目標 成果指標	・東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプの実施、機運醸成 ・大規模大会の誘致	R2 実績	R3 実績	R4 目標値	
		・東京 2020 五輪・パラリンピック関連事業 ・大規模大会誘致	・東京 2020 五輪・パラリンピック事前キャンプ受入 ・大規模大会誘致	・ホストタウンスポーツ交流 ・大規模大会誘致	

重点事業 3 3

事業名	市民スポーツ推進事業			担当課	体育スポーツ課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	拡充	事業費	R2 決算 2,726 千円	R3 予算 4,226 千円	R4 予算 5,684 千円
事業目的	<p>市民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営むことができるように市民それぞれのライフステージや関心度合、適性等に応じて日常的にスポーツに親しむ機会の充実を図ることで、スポーツ参画人口の拡大とスポーツ活動の活性化を目指す。</p>				
事業内容	<p>① トップアスリート育成・強化事業 国際大会での活躍が期待される中高生や全国大会等で優秀な成績を収めた小学生を対象に、競技に専念できる環境整備を行うための支援を行う。</p> <p>② ジュニアアスリート褒賞事業 全国大会等で優秀な成績を収めたジュニアアスリートに対し、その功績を称えるとともに、競技継続のモチベーションの向上を図るため褒賞金を贈呈する。</p> <p>③ ジュニアアスリート競技力向上事業 トップアスリートを目指すジュニア世代がレベルの高い指導を受ける機会を提供するため、レベルの高い講師によるスポーツ教室を実施する。</p> <p>④ 運動習慣づくり事業 日頃、運動をしていない市民等を対象に、手軽に長く続けられる運動を始めるためのきっかけづくりを目的として、スポーツの指導にノウハウのあるスポーツ団体等が運動教室事業を企画、開催する。</p>				
事業目標 成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ジュニアスポーツ賞の表彰者数 トップアスリート及びネクストトップアスリートの認定者数 	R2 実績	R3 実績	R4 目標値	
		<ul style="list-style-type: none"> ジュニアスポーツ賞 2 名 トップアスリート認定 11 名 	<ul style="list-style-type: none"> ジュニアスポーツ賞 10 名+1 団体 トップアスリート認定 8 名 	<ul style="list-style-type: none"> ジュニアアスリート褒賞 20 名+5 団体 トップアスリート認定 8 名 ネクストトップアスリート認定 5 名 	

重点事業 3 4

事業名	子どもの読書環境整備事業			担当課	中央図書館								
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R2 決算	R3 予算	R4 予算								
			5,280 千円	5,977 千円	5,977 千円								
事業目的	<p>① 久留米市子どもの読書活動推進計画に基づき、子どもが読書を通じて心豊かな生活を送れるよう読書習慣の定着を進めるための環境を整備する。</p> <p>② 子どもと絵本をつなぐきっかけづくりを目的として、子どもの健やかな成長などにも効果があるブックスタート事業を実施する。</p>												
事業内容	<p>計画の基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 家庭・地域、学校等、行政の連携・協働の推進 2. 子どもの読書活動のための環境整備の充実 3. 子どもの読書活動推進を支える理解と関心の普及・促進 <p>5 2 の施策</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>家庭・地域</th> <th>幼稚園・保育所 認定こども園</th> <th>学校</th> <th>図書館</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブックスタート 家読の推進等 (13 項目)</td> <td>読み聞かせ実施 絵本スペース整 備等 (3 項目)</td> <td>読書活動の推進 司書教諭・学校司 書の配置及び研 修充実等 (5 項目)</td> <td>児童図書整備 読書が困難な子 どもへのサービス 読書相談カウンター設 置等 (29 項目)</td> </tr> </tbody> </table>					家庭・地域	幼稚園・保育所 認定こども園	学校	図書館	ブックスタート 家読の推進等 (13 項目)	読み聞かせ実施 絵本スペース整 備等 (3 項目)	読書活動の推進 司書教諭・学校司 書の配置及び研 修充実等 (5 項目)	児童図書整備 読書が困難な子 どもへのサービス 読書相談カウンター設 置等 (29 項目)
	家庭・地域	幼稚園・保育所 認定こども園	学校	図書館									
	ブックスタート 家読の推進等 (13 項目)	読み聞かせ実施 絵本スペース整 備等 (3 項目)	読書活動の推進 司書教諭・学校司 書の配置及び研 修充実等 (5 項目)	児童図書整備 読書が困難な子 どもへのサービス 読書相談カウンター設 置等 (29 項目)									
													
<p>子どもの読書活動を社会全体で支えていく</p>													
<p>第 4 次子どもの読書活動推進計画の実施 (R 2 ~ R 7)</p> <p>学校図書館との情報交換会・合同研修会を通して情報共有しながら、令和 3 年度に南薫小学校と連携して取り組んだ「読書ゆうびん」を令和 4 年度は市内各図書館でも実施するなど、子どもたちが本に関心を持つためのさまざまな事業に取り組み、子どもの読書活動を推進していく。また、令和 4 年 1 月から設置した中央図書館児童室の読書相談カウンターにおいて、子どもから大人まで絵本・児童書に関する相談に対応し、さまざまな資料を提供していく。</p>													
事業目標 成果指標	児童書・絵本などの 貸出冊数※	R2 実績	R3 実績	R4 目標値									
		462,597 冊	475,751 冊	480,000 冊									

※今回より児童書・絵本などの貸出冊数に変更。(前回までは児童書・絵本などの蔵書数。)

重点事業 35

事業名	図書館整備事業			担当課	中央図書館
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R2 決算	R3 予算	R4 予算
			41,806 千円	360,305 千円	107,768 千円
事業目的	<p>快適な読書空間の提供と図書館機能の充実に向け、その基盤整備及び利用者サービスを図り、生涯学習ニーズに対応する。</p>				
事業内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 図書館整備・利用サービス・図書館資料の充実 </div>				
	<p>○図書館施設・機能の整備充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の安全確保、長寿命化及び備品の整備 ・中央図書館駐車場出入口安全対策検討 ・図書館総合管理システムの再構築 ・資料の購入：図書及びAV 約25,500点、雑誌 約800点 ・電子図書館の広域連携での導入検討 <p>○読書バリアフリー法を踏まえた市民との協働による視覚障害者等を支援するサービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアとの協働→音訳点訳図書の製作やサピエ活用、対面朗読の実施 				
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>◎図書館サービスの充実 ◎利用者・貸出冊数の増加</p> </div>					
<p>令和4年度は、図書館整備としては、図書館の資料管理・運営に不可欠な図書館総合管理システムの再構築を行う。また、中央図書館駐車場出入口の安全対策について、測量や調査分析を専門業者に委託し、調査結果を踏まえ今後の方針を決定する。</p> <p>図書館サービスについては、図書資料の充実を図るとともに電子図書館の導入についても検討を進めていく。福祉サービスは、福祉ボランティアとの協働により、継続して音訳図書や点訳図書を作成し、視覚障害者等への読書支援を行う。また、来館困難サービスとして、移動図書館や団体貸出、宅配サービスについても効果的な活用を行う。</p>					
事業目標 成果指標	貸出者数・貸出冊数の増加	R2 実績	R3 実績	R4 目標値	
		312,347 人 1,230,444 冊	312,326 人 1,230,284 冊	320,000 人 1,320,000 冊	

人生如夢

萬物皆空



